

平成14年7月1日発行 毎月1回1日発行 第590号 昭和33年12月15日 第3種郵便物認可

SCOUTING

No.590 スカウティング

2002 / 7



特集：新しいボーイの進歩



マスターバッジ

MASTER

ボーイスカウト部門の進歩課程が、新しくなります。今年の9月から、いよいよ移行期間に入ります、「何が変わり、何がかわらないのか？ 何がどう新しくなるのか？」多くのスカウト関係者が注目する中、様々な議論、検討が重ねられてきました。スカウトたちの健全な成長を思えばこそその賛否両論があり「新しい進歩課程」として構築されるまでの道のりは、さすがに作業としては山あり谷ありの厳しい道のりの連続であったようです。

これまでに、その基本的な考え方や、進歩課程の骨格となる部分については、「スカウティング」誌上でもお伝えしてきましたが、今回の改定で新しくなるものは、「進級課目」と「選択課目」（現行「特修章課目」）であると考えていただければわかりやすいのではないかと思います。進歩のための新しい具体的な課目が示された、バッジシステムが導入

ようになっています。それぞれの分野と、課目名について簡単にご紹介しておきます。

A=「スカウト精神」ちかいとおきて、モットー、スローガンに基づいた活動や普段の生活で実践できる基礎固め。

A01/メンバーシップ A02/家庭
A03/地域社会 A04/公民 A05/郷土文化
A06/世界友情 A07/地球市民
A08/B-P A09/リーダーシップ

B=「健康と発達」個人の成長として、健康、体力づくりなどの「からだ」の成長とともに知識や能力を伸ばすといった自己への挑戦。

B01/健康 B02/安全 B03/水泳
B04/運動能力 B05/救護 B06/クラブ活動
B07/外国語 B08/情報処理
B09/マネジメント

C=「スカウト技能・ハイキング」ハイキング関連を中心とした技能。

C01/ハイキング企画 C02/読図
C03/記録 C04/写真 C05/自転車
C06/オリエンテーリング

D=「スカウト技能〈追跡〉」自然観察や野外知識など、ハイキングを楽しむための技能。

D01/観察 D02/計測 D03/通信
D04/森林 D05/野外生物 D06/気象観測
D07/天体宇宙

E=「スカウト技能〈キャンピング〉」キャンピングを中心とした技能。

E01/キャンプ企画 E02/野外料理
E03/キャンプクラフト E04/燃料
E05/ロープ結び E06/たき火 E07/キャンプマネジメント

F=「スカウト技能〈冒険〉」ウッドクラフト・野外知識によるキャンピングを楽しむための技能。

F01/食料 F02/キャンプファイア
F03/サバイバル F04/フィッシング
F05/パイオニアリング F06/ウォーターアドベンチャー
F07/スカウトソング

G=「社会生活」他に対する奉仕を行う。また、その奉仕を行う相手をよく知るための活動。

G01/自然愛護 G02/デンコーチ
G03/近隣奉仕 G04/環境保護 G05/伝統工芸
G06/防災 G07/リサイクル
G08/ガイド



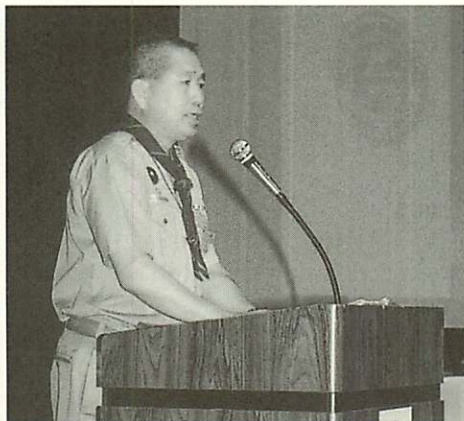
新しいボーイスカウト部門の進歩課程 53種のターゲットバッジ 9月1日から移行スタート!

されると理解すればさらにその実像がはっきりしてくることでしょう。選択課目記章53種のターゲットバッジ、そしてマスターバッジは、左頁に示した通りです（ほぼ原寸大。色、デザインは若干異なる場合もあります）。

非常にカラフルで、一つひとつが、これまでのボーイスカウトにない新鮮な感覚で表現されています。スカウトたちには幅広い分野に楽しく挑戦してもらいたいという願いが込められています。明るい配色のかっこいいバッジは、この年代の少年少女の進歩への意欲を刺激することでしょう。このバッジをより多く集めることがスカウトの目標となり、それが自然に新しい進歩につながっていくわけです。いつ、どこで、どの課目に挑戦するのか、スカウトが、自主的に進歩の計画を立て実行していく上で、これらのバッジは、そのシンボリックな役割も果たすこととなります。

ターゲットバッジは、左頁を見ていただければわかるように、活動分野ごとにグループングされ、ふちどりのカラーで見分けられる

各課目は、6つの細目でできています。そのうち3つの細目への挑戦が認められると、その課目の「ターゲットバッジ」を取得できます。さらに残りの3つの細目にも挑戦し、全ての細目を履修すると「マスターバッジ」が授与されます。



News

JULY 2002
SCOUTING JAPAN



コミュニケーション新時代

5月18日に開催された年次全国会議では、先月号で既報の通りすべての議案が可決・承認され、地元福井の皆さんのご尽力もあり、無事終了することができました。会議では激しく議論し、懇親会ではなごやかに近況を語り合い、互いに活躍を励まし合うというスカウターらしい光景が見られました。

今年度の全国会議では、いくつかの新しい試みがありました。いずれも新しい時代の組織内のコミュニケーションをより良くするための工夫として、今後も引き継がれ、発展させていくことが望めます。またこれらの試みは、県連盟・地区・団レベルでの活動・運営においても、より内容を充実させるヒント

となると思われますので、ご紹介したいと思います。また今回全国会議に参加された方々からも、『スカウティング』宛に率直なご意見や感想をいただきたいと考えています。

資料説明のビジュアル化

今回の会議では、議案関連資料の説明に映像機器を用いて、舞台上の大型スクリーンに映写するという手法がとられました。表やグラフがカラーで示され、わかりやすいプレゼンテーションとなりました。手元の原稿をうつむいて読み上げるより、はるかにスマートでわかりやすく、効果的です。

表彰された方の記念撮影

表彰者一人ひとりを舞台上で撮影しまし

た。賞状を受け取った後、舞台袖で待ちかまえるカメラの前に進み、写真を撮って舞台から退くというスムーズな流れを作ったため、見事な関係プレーが展開され、進行上時間的な影響はほとんどありませんでした。

事例発表会

組織拡充に積極的な取り組みを行い、成果をあげた組織の活動事例を紹介しました。短い発表時間ではありましたが、皆が同じ認識を共有するという意味で、非常に価値ある試みとなりました。発表の内容については、今月号でもその一部をコンパクトにまとめて掲載していますが、今後実際の活動の様子も取材し、『スカウティング』誌上で詳しくお届けしていきたいと考えています。

7

SCOUTING JAPAN
JULY
2002

1 mon	
2 tue	
3 wed	
4 thu	
5 fri	
6 sat	中央審議会(～7日)
7 sun	青少年シンポジウム
8 mon	
9 tue	岩手連盟創立(1949) 長崎県連盟創立(1950)
10 wed	
11 thu	
12 fri	
13 sat	
14 sun	13NJ広報センター専門部会
15 mon	第36回世界スカウト会議(～19日)
16 tue	
17 wed	
18 thu	
19 fri	
20 sat	(海の日) スカウト・オーストラリア短期留学(学習旅行)派遣出発 日韓スカウトフォーラム(濟州島)派遣準備訓練(～22日) 20WJ実行委員会
21 sun	韓国国際パトロールジャンボリー派遣準備訓練(～23日)
22 mon	日韓スカウトフォーラム(濟州島)派遣出発(～30日) 福井連盟創立(1950)
23 tue	韓国国際パトロールジャンボリー派遣出発(～29日)
24 wed	総務委員会・編集小委員会
25 thu	静岡県連盟創立(1949)
26 fri	海外スカウト受入計画・13NJ外国スカウト特別招待計画 参加者到着(～8月10日)
27 sat	
28 sun	海外スカウト受入計画・13NJ外国スカウト特別招待計画 歓迎夕食会
29 mon	
30 tue	愛媛県連盟創立(1950)
31 wed	日米・日韓スカウト交歓計画 参加者到着・歓迎夕食会(～8月14日) 宮城県連盟創立(1949) 秋田連盟創立(1951)



「田植え」…キャンプのご飯に
宮崎・宮崎第11団副団委員長 松河静子

私たちの主食であるべき「こめ」。夏季キャンプ時のご飯になるまでをともにするスタートの「田植え」です。恒例になり、カブ隊は足をとられることも遊ぶこともなく、大人顔負けの手つきでもくもくと植えていき、用水路で足を洗います。植え終わった田んぼをながめるスカウトの思いは…。田植え経験のない保護者もうらやましそうな様子。私たちを見守ってくださる地主さんへ感謝です。

CONTENTS

Monthly View	BADGES	2
Introduction	53種のターゲットバッジ	3
SAJ News	コミュニケーション新時代	4
J Schedule	「田植え」…キャンプのご飯に	5
P Explanation	新しいボーイの進歩	6
P Explanation	ボーイスカウト部門関連規定及び関連施行細則の改定	10
Report	組織拡充ステップアップ事例報告	12
J Explanation	コミッショナーに関する教育規定改正	14
Explanation	第36回世界スカウト会議を目前にして	16
Club Scout	CAMP	I～VIII
Faith	隊長への手紙 信仰心を育むために	19
J Management	夏の活動・安全対策 ③	20
Information	13NJ NEWS	22
J Greetings	夏の名刺交換	26
J Information	日本連盟からのお知らせ	32
Topics	情報コーナー	33
Letters	読者のページ	34
Shopping	スカウトショップニュース	35

〈凡例〉 **J** = 日本連盟 = 組織拡充 **A** = アダルトリソース **T** = トレーニング
P = プログラム = 国際 = 大会・行事 = 読み物 = クラブスカウト
 = 読者投稿 = 編集部 = 資料センター = その他の注目記事・広告

幅広い分野で挑戦ができるように — 9月1日移行スタート



新しいボーイの進歩

これまで『スカウティング』誌上でもお伝えしてきた通り、ボーイスカウト部門の進歩課程が変わります。

今年5月の中央審議会においてBS部門関連周辺規定の整備を終え、9月1日から1年間の移行期間がスタートします。現行進歩課程については来年の8月末日までとなりますので、スカウトの進級状況を見ながら、各隊においてスムーズに移行していくことが求められます。新しいシステムや課目を速やかに取り入れ、活動を展開していくために、現場の指導者をはじめ、すべてのスカウト運動の関係者一丸となって取り組んでいただきたいと思います。

スカウト自身が「カッコいいなあ」「おもしろそうだなあ」とあこがれや興味を持ち、自

進級のすすめかた

CAMPING

キャンプにおける1日

キャンプは、自然の中で生活する貴重な機会です。自然の恵みを受け、仲間と協力して活動することで、心身の成長を促します。キャンプには、準備、実施、片付けの3つのフェーズがあります。各フェーズにおいて、リーダーが適切な指導を行い、メンバーが主体的に参加できるように促します。

Outdoor Code

自然環境の大切さ

自然環境は私たちの生活を支えている大切な財産です。自然環境を大切に守ることは、私たちの未来を明るくする鍵となります。自然環境を大切に守るためには、自然環境を大切にする意識を持ち、自然環境を大切にする行動を心がけることが大切です。

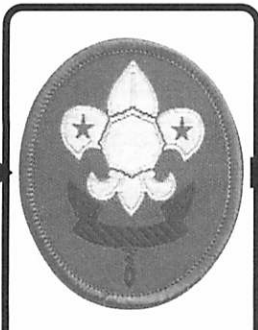
ロープワーク

ロープワークは、自然の中で生活するための重要なスキルです。ロープワークを学ぶことで、自然の中で安全に生活できるようになります。ロープワークを学ぶには、正しい姿勢と技術を身につけることが大切です。ロープワークを学ぶ際には、リーダーの指導をしっかりと受け、安全に活動できるように心がけます。

「ボーイスカウトハンドブック」編集作業は着々と進んでいます。8月中に発売予定です。



ボーイスカウト
バッジ



初級スカウト

キーワード
仲間

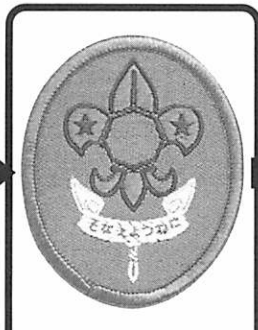
■ 進級の目標 ■

初心者として、ハイキングやキャンプで自分のことが自分でできるようになる。

■ 進級のあり方 ■

活動に参加することにより達成する。自分の得意・不足する部分を理解し、自分で挑戦できるものを理解する。

- ちかい・おきてを隊長と話し合う
- スカウト章・モットー・スローガン
- 国旗の様式・掲揚
- 体温・脈拍
- 簡易測量
- 身ぶり信号・笛の合図・暗号
- 5種のロープ結び
- 社会奉仕活動
- 活動への参加



2級スカウト

キーワード
ハイキング

■ 進級の目標 ■

班の中心として、活動の企画・計画ができるとともに、初級スカウトの指導がある程度できる。

■ 進級のあり方 ■

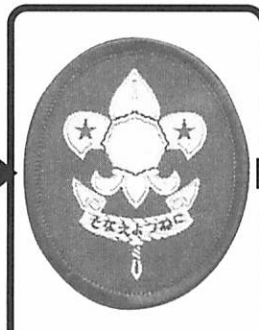
初級スカウトの指導を通じて、自分の現状を把握し、自分に必要な技能に挑戦する。

- ハイキングでの注意事項
コンパス
地形図記号
ハイキングの計画と実施
ちかい・おきての意味

【ターゲットバッジ取得】

- 「ハイキング」 ×2
- 「追跡」 ×1
- 「キャンピング」 ×1
- 「冒険」 ×1
- 「健康と発達」 ×1
- 「スカウト精神」 ×1
- 「社会生活」 ×1

【マスターバッジ取得】 ×1
最低3か月、活動への参加



1級スカウト

キーワード
キャンプ

■ 進級の目標 ■

ボーイスカウト活動の中心として、スカウト技能は単独でほとんどのものが実施できる。

■ 進級のあり方 ■

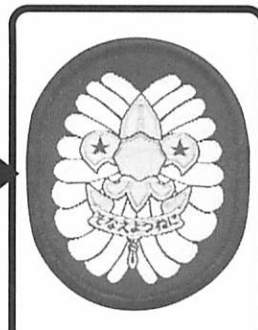
進級課目について、その目的や達成の方法を自分自身で理解するとともに、初級・2級スカウトを指導する。

- キャンプでの注意事項
サイト設計・テント
献立・保管

【ターゲットバッジ取得】

- 「キャンピング」 ×2
- 「ハイキング」 ×1
- 「追跡」 ×1
- 「冒険」 ×1
- 「健康と発達」 ×1
- 「スカウト精神」 ×1
- 「社会生活」 ×1

【マスターバッジ取得】 ×2
最低3か月、活動への参加



菊スカウト

キーワード
技能全般

■ 進級の目標 ■

上級班長・隊付または班長として、自分の隊や団はもちろん地区・地域等への積極的な活動が展開できる。

■ 進級のあり方 ■

初級・2級・1級スカウトのどの要望に対しても、対応する方法を理解して指導する。

- ちかい・おきての実践と模範
金銭出納帳

【ターゲットバッジ取得】

- 「スカウト精神」 ×1
- 「健康と発達」 ×1
- 「ハイキング」 ×1
- 「追跡」 ×1
- 「キャンピング」 ×1
- 「冒険」 ×1
- 「社会生活」 ×1

【マスターバッジ取得】 ×3
最低3か月、活動への参加

進級章

「初級」「2級」「1級」「菊」といった各級のイメージを創出させることは、スカウトの挑戦意欲を喚起させます。それぞれの級に至る過程をわかりやすく示しました。スカウトにとって明確な目標設定ができるように工夫されています。

主的に計画を立て、幅広く楽しい活動ができるようにと工夫された、新しい進歩のしくみが構築されています。

ボーイスカウトハンドブック

「読んで、見て、実際にやってみる～アウトドアの実践書としても使えます」というのが、新しい課目に挑戦するスカウトたちをサポートするハンドブックのキャッチフレーズです。しくみや課目を知るための資料としてだけでなく、スカウト自身の活動展開をサポートする重要な手引きとして、すべてのスカウトが携帯するものです。

「ボーイ」活動の目標

- 神(仏)をうやまい、自分のつとめを行う。
- 野外活動により大自然を知る。
- 班および隊の活動を通じて、自分の役割と責務を果たすことを学ぶ。
- 人生に有用な知識と技能を習得する。
- 自ら考え、判断し、決断する力を養う。
- 自分の特性と長所に目覚め、創造力を伸ばす。
- 健康の増進につとめ、身体を強健にする。
- 好奇心と冒険心を満足する活動を行う。
- リーダーシップを身につける。
- 他の人々に役立つ奉仕活動を行う。
- フェアプレーの精神と正義感を養う。
- 愛と感謝する心を養う。



ターゲットバッジ
3項目で授与

MASTER

マスターバッジ
6項目で完修

進歩課程のねらい

スカウトたちが、活動を通じて個人の資質を伸ばしていくための「きっかけ」として位置づけられるのが、進歩課程です。スカウト一人ひとりの力に応じて計画を立て、自らの取り組みによって成し遂げていきます。

左の図は、新しい進歩のしくみの全体像を、わかりやすく示したものです。『スカウティング』1月号でも同様の図を掲載して概要を説明していますが、その後名称の変更や課目の内容・数に変更がありましたので、確定情報として再掲載します。もちろん、基本的な考え方やねらいは変わっていません。

進歩課目は、大きく4つの領域に分かれています。「スカウト精神」「健康と発達」「技能」「社会生活(奉仕)」です。そこには具体的な進歩課目が定められていますが、今回、この課目が新しくなるのだと考えてください。課目はさらに細分化された、選択課目となります。選択課目は巻頭のカラー頁に示された通り、53種類あります。そしてそれぞれの課目には、6つの細目が設定されています。

級	各級のご概念 キーワード	進級の条件・イメージ
初級	仲間	<ul style="list-style-type: none"> ○「ちかい」と「おきて」について隊長と話し合う。 ○スカウト章・モットー・スローガンの意味を説明する。 ○体温と脈拍を正しく測ることができる。他 ●入隊した後、隊や班の活動に進んで参加したことを、班長会議で認めてもらう。
2級	ハイキング	<ul style="list-style-type: none"> ○ハイキングで注意すべきことを説明する。 ○コンパスの使い方を実演する。 ○地形図記号を説明する。 ○「ちかい」と「おきて」について意味を理解する。他 ●初級スカウトとして最低3か月、隊や班の活動に進んで参加したことを、班長会議で認めてもらう。
1級	キャンプ	<ul style="list-style-type: none"> ○キャンプで気をつけなければならないことを説明する。 ○キャンプの際に班サイトに適した場所を選び、サイトを設計し、テントを張る。他 ●2級スカウトとして最低3か月、隊や班の活動に進んで参加したことを、班長会議で認めてもらう。
菊	技能全般	<ul style="list-style-type: none"> ○「ちかい」と「おきて」の実践に努力して他のスカウトの模範となる。 ○金銭出納帳を3か月記録し、自己管理する。他 ●1級スカウトとして最低3か月、隊や班の活動に進んで参加したことを、班長会議で認めてもらう。



例：選択課目「郷土文化」細目

自分の住んでいる地域とそれ以外の地域での言葉の使い方(方言)の違いを調べ、集会で発表する。

自分の住んでいる地域の文化財や史跡の探訪ハイキングを実施する。

自分の住んでいる地域あるいは日本の伝統的な行事の起源を知り、行事に進んで参加するか見学をする。

文化財や天然記念物の種類と意味を説明する。

ユネスコの世界遺産とは何かを調べ、特に日本で指定されているものを挙げる。

古くからある街道の変遷等を調べ、実際に歩き集会で発表する。

上記のうち3つの細目に挑戦すれば、ターゲットバッジを取得できます。すべての細目をクリアすれば、マスターバッジが授与されます。

側に置いておくだけで、様々な分野への興味を広がり、活動への意欲が増大し、具体的な計画作りにも役立つ情報が満載されています。スカウトたちの成長を促す1冊です。

スカウト自身が成長を意識

1907年に誕生したスカウト運動も、21世紀を迎え、間もなく100歳になろうとしています。長い歴史の流れの中で、世界中から愛され、多くの青少年が参加し、楽しい活動を続けてきました。その間、スカウト運動の



教育理念はその根本を変えずに、現在まで引き継がれています。

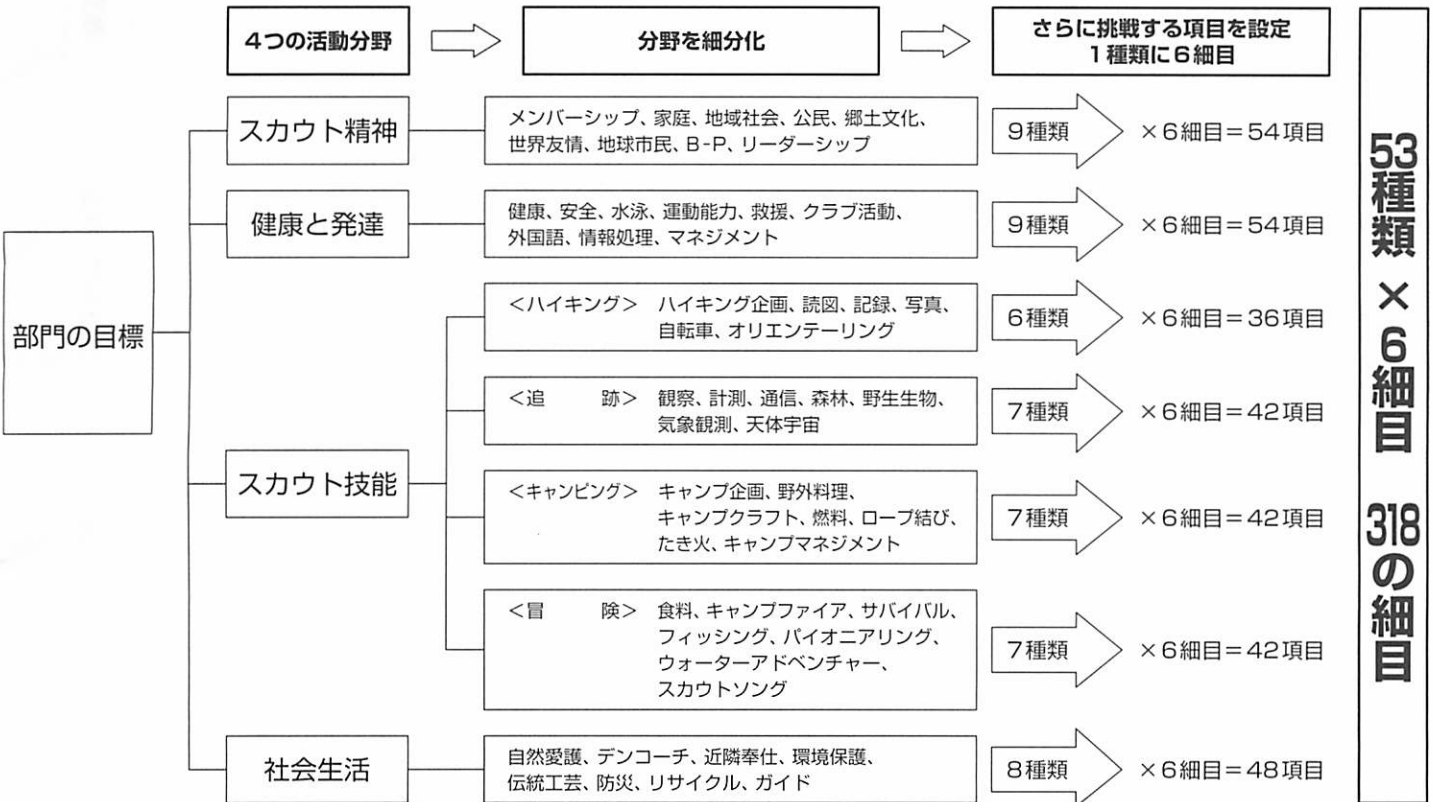
今回、ボーイスカウト部門の進歩課程を新しくすることは、これまでの方針や基本的な考え方を変えようというものではありません。新しいバッジシステムの導入により、活動の目標や方法をよりわかりやすく示し、スカウトたちの挑戦を、そして成長をサポートしようというものです。少年少女がより楽しく、幅広い分野で挑戦できるようにと考えられています。

進歩課程は、スカウト一人ひとりが自分自身の成長を意識し、積極的に関わられるように設定されています。そしてこの課程は、個人の「身体的」「知的」「情緒的」「社会的」「精神的」領域で、それぞれの知識・技能・心構えを伸ばしていくように焦点が絞られています。

スカウティングには、それぞれの年代に適した「活動目標」が定められています。「ボーイ」の目標については、7頁に示されている通りです。つまり、この運動に参加するスカ

進歩課程のしくみ…何に挑戦するのか

スカウティング本来の目的を見定め、この部門のプログラムについて現代的な問題、青少年の考え方、希望、夢、あこがれ、そして次代に世界を担う青少年に対する社会の要請を考慮し、53種の選択課目を決めました。



ウトたちが「ボーイ」部門を終了するときまでにこの目標が達成されるように、成人(指導者、保護者、地域の方々)が協力し、支援していきます。

いろいろな場での活動

この運動に参加する少年少女は、まず仲間として「ちかい」をたててスカウトとなり、自発的にこの部門の活動への取り組みを始めることになります。そこをスタートラインとして展開される活動は、あるときは班で、あるときは隊で、いろいろな場面が考えられます。そしてそれらの取り組みを通じて、個人として成長していくのです。さらに一人ひとりが、個人としてそれぞれの進歩課目に挑戦していくことにより、さらに発達・成長していくことになります。

進歩課目には、活動する様々な場面が想定されています。先述した班・隊の活動だけでなく、家庭や学校、そして地域社会での活動や体験も設定されています。



新しい進歩課程は、日本連盟ホームページから見るすることができます。

<http://www.scout.or.jp/j/youth/rap/rap/preface.html>

第6章 団組織／第12章 進級・進歩課目及びターゲットバッジ・技能章	
対象	ボーイスカウト
6-95 ※	<現行通り>
ボーイスカウト	
6-96	<削除>
入隊	
6-97	6-95の少年は、入隊条件を満たした後、入隊式において1-4のちかいをたて、ボーイスカウトバッジを着用しボーイスカウトとなり、12-12に示す「初級」課目を履修する。 ・入隊条件 1. 「ちかい」と「おきて」がいえる。 2. 三指の敬礼・左手の握手・スカウトサインが正しくできる。 ② 「初級」課目については、カブスカウトの上進章課目で履修することができる。 ③ 入隊の時期については各団において定める。
上進	
6-98	<現行通り>
進歩課程	
6-99	ボーイスカウトは次の区分にしたがい、進級課目を履修し、所定の考査及び面接を経て進級する。 「ボーイスカウト」:12-12「初級」課目 「初級スカウト」:12-13「2級」課目 「2級スカウト」:12-14「1級」課目 「1級スカウト」:12-15「菊」課目
6-100	初級スカウト以上は12-15Bに定める選択課目を履修し、ターゲットバッジ、マスターバッジを修得する。 ② 2級スカウト以上は12-20に定める技能章課目の考査を受けることができる。
制服と記章	
6-101	<現行通り>
ボーイスカウト入隊	ボーイスカウト入隊
12-11	<削除>
ボーイスカウト部門選択課目	ボーイスカウト進級課目
12-15B	初級スカウト以上は、別に定める各選択課目の6細目中から3つを履修することによりターゲットバッジを修得し、すべてを履修するとマスターバッジを修得する。
12-15B-1	ボーイスカウト部門選択課目及び細目は次の通りとする。 (略)
技能章	技能章課目
12-20	技能章については別に定める。
12-20-1	<削除>
12-20-2	<現行通り>

ボーイスカウト部門関連規定及び関連連施行細則の改定(平成14年9月1日～)

第6章 団組織／第8章 制服											
	カブスカウト隊(カブ隊)										
デンコーチ資格											
6-54	デンコーチは、団内の初級以上のスカウトとする。ただし、団内に適任者が得られない場合は、カブスカウト訓育にふさわしい資質を備えた16歳以上の者を選任することができる。										
制服と記章											
6-56	団内の初級以上のスカウトがデンコーチを行う場合は、所属隊の制服及び9-1-5に示す標章を着用する。 ② <省略>										
	ボーイスカウト隊(ボーイ隊)										
デンコーチ											
6-91	ボーイ隊長は、カブ隊長の依頼により班長会議にはかった上、初級以上のスカウトをデンコーチとして選任し、カブ隊へ派遣する。										
	ボーイスカウトの正装										
ボーイスカウトの正装											
8-10-1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施行細則</th> <th>ボーイスカウトの記章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(4) ターゲットバッジ、(5) マスターバッジ</td> <td></td> </tr> <tr> <td><様式・図柄></td> <td>(ターゲットバッジ、マスターバッジに改める)</td> </tr> <tr> <td><寸法></td> <td>ターゲットバッジ 直径3cmの円形。 マスターバッジ 3cm×1cm。</td> </tr> <tr> <td><着用部位その他></td> <td>タスキに着用する。マスターバッジは該当ターゲットバッジに接して下につける。タスキは右肩から左脇下にかける。</td> </tr> </tbody> </table>	施行細則	ボーイスカウトの記章	(4) ターゲットバッジ、(5) マスターバッジ		<様式・図柄>	(ターゲットバッジ、マスターバッジに改める)	<寸法>	ターゲットバッジ 直径3cmの円形。 マスターバッジ 3cm×1cm。	<着用部位その他>	タスキに着用する。マスターバッジは該当ターゲットバッジに接して下につける。タスキは右肩から左脇下にかける。
施行細則	ボーイスカウトの記章										
(4) ターゲットバッジ、(5) マスターバッジ											
<様式・図柄>	(ターゲットバッジ、マスターバッジに改める)										
<寸法>	ターゲットバッジ 直径3cmの円形。 マスターバッジ 3cm×1cm。										
<着用部位その他>	タスキに着用する。マスターバッジは該当ターゲットバッジに接して下につける。タスキは右肩から左脇下にかける。										
8-1-1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施行細則</th> <th>制服及び記章、標章の着用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>(9) 班別章、組別章、チャレンジ章、ターゲットバッジ、マスターバッジ、技能章 (図作成中)</td> </tr> <tr> <td></td> <th>制服の着用基準</th> </tr> <tr> <td></td> <td>ボーイスカウトの正装 (正装としてはタスキ着用を標準とするが、活動内容によって省略することができる) (図作成中)</td> </tr> </tbody> </table>	施行細則	制服及び記章、標章の着用		(9) 班別章、組別章、チャレンジ章、ターゲットバッジ、マスターバッジ、技能章 (図作成中)		制服の着用基準		ボーイスカウトの正装 (正装としてはタスキ着用を標準とするが、活動内容によって省略することができる) (図作成中)		
施行細則	制服及び記章、標章の着用										
	(9) 班別章、組別章、チャレンジ章、ターゲットバッジ、マスターバッジ、技能章 (図作成中)										
	制服の着用基準										
	ボーイスカウトの正装 (正装としてはタスキ着用を標準とするが、活動内容によって省略することができる) (図作成中)										

第12章 進級・進歩課目及びターゲットバッジ・技能章

ボーイスカウト進級課目

初級

12-12

入隊したボーイスカウトは、次の項目を修了した後、所定の手続きを経て、初級スカウトとなる。

1. スカウト精神

- (1)「ちかい」と「おきて」について隊長と話し合う。
- (2)スカウト章・モットー・スローガンの意味を説明できる。
- (3)日本の国旗の正しい様式を知り、隊や班の活動で掲揚柱に掲揚する。

2. 健康と発達

- (1)体温と脈はくを正しくはかることができる。

3. スカウト技能

- (1)自分の体や身近にあるものを用いて簡単な測量を行う。
- (2)隊や班で使う身ぶり信号(きをつけ・休め・注意・すわれ・わかれと集合隊形の各種サイン)、笛の合図、暗号を覚える。
- (3)次のなわ結びを実際に行い、使いみちを知る。
 - ①本結び ②一重つぎ ③ふた結び ④もやい結び ⑤8の字結び

4. 社会生活

- (1)隊や班の活動などで行う社会奉仕活動に積極的に参加する。
5. 入隊した後、隊や班の活動に進んで参加したことを、班長会議で認めてもらう。

2級

12-13

初級スカウトは、次の項目を修了した後、所定の手続きを経て、2級スカウトとなる。

1. ハイキング

- (1)ハイキングで注意すべきことを説明する。また、道に迷った時にどのように行動するかを説明する。
- (2)コンパスの使い方を実演する。
- (3)地形図記号を説明する。
- (4)コンパスと地図を用いた10km程度のハイキングを計画し、隊長、保護者の同意のもとに実際に行う。
- (5)「スカウト技能・ハイキング」の活動からターゲットバッジを2つを修得する。

2. スカウト技能

- (1)「スカウト技能・キャンピング」の活動からターゲットバッジ1つを修得する。
- (2)「スカウト技能・追跡」の活動からターゲットバッジ1つを修得する。
- (3)「スカウト技能・冒険」の活動からターゲットバッジ1つを修得する。

3. 健康と発達

- (1)「健康と発達」の活動からターゲットバッジ1つを修得する。

4. スカウト精神

- (1)「スカウト精神」の活動からターゲットバッジ1つを修得する。
- (2)「ちかい」と「おきて」について意味を説明する。

5. 社会生活

- (1)「社会生活」の活動からターゲットバッジを1つ修得する。

6. マスターバッジを1つ修得する。

7. 初級スカウトとして、最低3カ月、隊や班の活動に進んで参加したことを、班長会議で認めてもらう。

第12章 進級・進歩課目及びターゲットバッジ・技能章

1級

12-14

2級スカウトは、次の項目を修了した後、所定の手続きを経て、1級スカウトとなる。

1. キャンピング

- (1)キャンプで気をつけなければならないことを説明する
- (2)キャンプの際に班サイトに適した場所を選び、サイトの設計を行い、テントを張る。
- (3)班・隊キャンプの献立を作成し、食材料を準備する。また、食材の保管で気をつけなければならないことを説明する。
- (4)隊長、保護者の同意のもとにキャンプを計画し、実際に行う。
- (5)「スカウト技能・キャンピング」の活動からターゲットバッジを2つ修得する。

2. スカウト技能

- (1)「スカウト技能・ハイキング」の活動からターゲットバッジを1つ修得する。
- (2)「スカウト技能・追跡」の活動からターゲットバッジを1つ修得する。
- (3)「スカウト技能・冒険」の活動からターゲットバッジを1つ修得する。

3. 健康と発達

- (1)「健康と発達」の活動からターゲットバッジを1つ修得する。

4. スカウト精神

- (1)野外における国旗掲揚法を知り、キャンプにおいて国旗を掲揚する準備をし、掲揚する。
- (2)「スカウト精神」の活動からターゲットバッジを1つ修得する。
- (3)「ちかい」と「おきて」の実践に努力していることを日常の生活で示す。

5. 社会生活

- (1)「社会生活」の活動からターゲットバッジを1つ修得する。

6. マスターバッジを2つ修得する。

7. 2級スカウトとして、最低3カ月、隊や班の活動に進んで参加したことを、班長会議で認めてもらう。

菊

12-15

1級スカウトは、次の項目を修了した後、所定の手続きを経て、菊スカウトとなる。

1. スカウト精神

- (1)「ちかい」と「おきて」の実践に努力して他のスカウトの模範となる。
- (2)金銭出納帳を3か月記録し、自己管理をする。
- (3)「スカウト精神」の活動からターゲットバッジを1つ修得する。

2. 健康と発達

- (1)「健康と発達」の活動からターゲットバッジを1つ修得する。

3. スカウト技能

- (1)「スカウト技能・ハイキング」の活動からターゲットバッジを1つ修得する。
- (2)「スカウト技能・追跡」の活動からターゲットバッジを1つ修得する。
- (3)「スカウト技能・キャンピング」の活動からターゲットバッジを1つ修得する。
- (4)「スカウト技能・冒険」の活動からターゲットバッジを1つ修得する。

4. 社会生活

- (1)「社会生活」の活動からターゲットバッジを1つ修得する。

5. マスターバッジを3つ修得する。

6. 1級スカウトとして、最低3カ月、隊や班の活動に進んで参加したことを、班長会議で認めてもらう。

組織拡充ステップアップ事例報告 1 千葉県連盟



「上進するのが当然」という雰囲気作り

千葉県コミッショナー 菊地康介



平成14年度年次全国会議において、千葉県連盟の取り組みと成果が報告されました。

「カブからボーイへの上進が組織拡充の鍵となっている」とは、多くの活動の場面で聞かれる言葉です。「上進するのが当然」となれば、数字的に大きく改善されるのは間違いありません。

千葉県は人口約597万人、31市44町5村。平成14年3月31日(平成13年度末)現在の加盟員数11,233人、全国第8位の県連盟で、11地区、125こ団で構成されています。

昭和58年に33万人を超えた全国の加盟員数は、減少の一途となっています。各県連盟とも歯止めをかけるべく様々な施策を行ってきました。千葉県連盟においても同様でしたが、近年その成果が現れて、平成10年度、11年度、12年度、13年度と、4年連続して前年度の加盟員数を超えることができました。1万人を超える県連盟では、唯一増加しています。私たちの取り組みが皆さんの参考となれば幸いです。

加盟員の減少は、運動の主役であるスカウトの減少と切り離すことはできません。これまでの加盟員数の推移を見ると、ボーイスカウトとカブスカウトの減少が著しいのがわかります。カブスカウトはプログラム改定によって一時歯止めがかかったと見えますが、ボーイスカウトの減少は続いています。

そこでカブスカウトからボーイスカウトへの上進状況を調べたところ、予定者数の38.4%が退団していることがわかりました。この中途退団を防止すること、そして新しい加盟員を得るために千葉県連盟は「+5、-0運動」を全県で展開しました。

- +5 各団が今までよりも5名以上入団者を確保する。
- & そして
- -0 退団者をゼロにする

そのためには、

- 保護者の理解を深め
- 指導者の資質と能力を高めることにより
- 保護者と指導者の信頼が深まり退団者がなくなる

という流れを設定して活動を開始しました。



具体的には、

1 団訪問の実施

全国の訪問を目標に、短期集中的に行いました。

2 BS説明会の実施

保護者にスカウト活動の本質を理解してもらうことが活性化につながると考えます。

3 魅力あるプログラムの提供

県連盟にプログラム研究特別委員会を設置して、スカウト・保護者から信頼される指導者、魅力あるプログラムを提供できる指導者の養成を目指します。

4 上進へのプログラム

カブスカウトからボーイスカウトへの上進のための「のり代プログラム」によって、親もスカウトも上進するのが当然という雰囲気を作ります。

5 スカウトの顕彰

富士章取得スカウト ……日本連盟顕彰
 富士章挑戦中のスカウト ……県知事表彰
 (昭和61年から)

菊スカウト ……市町村長顕彰
 (平成11年から、現在10市で実施)

6 未組織地域での発団促進

未組織地域でカブラリーを実施、実際の活動でPRして成果を上げています。

7 ステップアップバッジの活用

日本連盟の組織拡充顕彰に連動して、県連盟でも顕彰するようにしました。

8 保護者のための解説書の発行

保護者の理解促進のため、「ステップ・アップ・スカウト運動21世紀ー保護者と子どもが共に歩むためにー」を出版し、全団・全指導者に配布しました。

以上の各施策を通じて冒頭に説明したような成果を得ましたが、同時にビーバー部門からの上進のための施策が不十分であった等の反省点もあり、それらを踏まえて第2次ステップを進めているところです。



国際理解をテーマにカブラリー



テーマ：「ゲット 世界151」～私たち世界の旅行者～

■テーマソング 小さな世界

■開催日・会場 2002年5月12日(日) 千葉市・昭和の森公園

15回目の節目を迎え、21世紀最初の開催にあたるため、「第15回記念カブラリー」としました。「国際理解」をテーマにしたプログラムに挑戦し、スカウト、指導者、保護者、一般参加者も含めて楽しい1日を過ごしました。

プログラム「世界一周旅行」の流れ

- (1) 県下11地区が、各々1か国を選び、ブースをその国の文化にあわせて飾り付けます。ブースには、それぞれの国を代表する「大使」を置きます。
- (2) スカウトは、扮装した外国人のいるブースを組、または隊で回ります。各隊・組は、スカウトも指導者もあらかじめ選定したその国の人になりきって、世界一周旅行に出ます。そして、各国ブースをそれぞれの雰囲気を楽しみながら回ります。
- (3) 参加章は「パスポート」です。各スカウト指導者は実行特別委員会が提供する素材を用いパスポートを完成させます。「パスポート」には所持者の写真を貼り、パスポートNO、発行年月日、有効期限、所属国名、氏名、生年月日、自書サインと、自分たちが調べた内容や国旗の絵柄等を記載します。「パスポート」にはシンボルマークが印刷されています。
- (4) それぞれのブース(訪問国)で、パスポートに入国スタンプを押します。
- (5) 各ブースの国・地域の分類担当については次の通り。

①アメリカ	(インターアメリカ)	北船地区
②チリ	(インターアメリカ)	船橋地区
③イギリス	(ヨーロッパ)	八習地区
④スイス	(ヨーロッパ)	印旛地区
⑤タイ	(アジア太平洋)	上総地区
⑥オーストラリア	(アジア太平洋)	松戸地区
⑦韓国	(アジア太平洋)	南総地区
⑧フィリピン	(アジア太平洋)	千葉地区
⑨ケニア	(アフリカ)	市浦地区
⑩南アフリカ	(アフリカ)	香東地区
⑪エジプト	(アラブ)	東葛地区

コミッショナーに関する教育規定改正

日本連盟中央審議会議長 新藤信夫

我が国のスカウト運動にとって、数年来の懸案はとりもなおさず加盟員、とりわけスカウトの急激な減少の問題です。この間、日本連盟は都道府県連盟と協力しつつ、あらゆる分野の成人加盟員が一体となって様々な施策を講じてきましたが、残念ながら加盟員は増加に転じるに至っていません。



平成14年度年次全国会議において可決された第5号議案の「コミッショナーに関する教育規定改正」についてご理解をいただくため、今回の改正のポイントを説明いたします。

規定改正のねらい

こうした厳しい状況下における今回のコミッショナーに関する改正は、『日本連盟組織の簡素化と人員の削減(スリム化)を図る』『教育本部の組織内における責任体制を明確にする』『意思決定のスピードアップを図る』『コミッショナーのあり方を見直す』という機構改革の一環をなすものであり、平成9年度以来の懸案です。

日本連盟と隊・団、都道府県連盟(地区)とのコミュニケーションを円滑にするため、ボトムアップで、かつスピーディーな意思決定が可能な組織と、明確な目標設定と結果に対する責任ある執行体制を作り出すための第一歩です。決して上意下達・中央集権型の組織作りを意図したものではありません。



運動の発展のために

これまでコミッショナーは、「スカウト運動の基準を維持し(守り手)、その純正な発展を図る(担い手)」という責務において、どちらかという運動の「守り手」とであるとされてきました。しかし昨今のように、我が国のスカウト運動が危機に瀕しているような有事にあって、コミッショナーは、運動の「守り手」とであると同時に、「担い手」であることに比重を移していきたいと考えています。

「守り手」とは、運動の目的、原理、方法という普遍的なものを継承することで、単に教育規定を守るよう指導するというだけではありません。一方、「担い手」とは、これら普遍的なものを基盤として、青少年を囲む環境の変化や、地域性、団の成り立ち・特性等にあった青少年プログラムや指導者の訓練システムを提供し、組織の規定や方針に従って、運動を推進することです。指導者の中でも、とりわけ教育運動家としての品性と経歴、スカウト運動の専門性、リーダーシップを備えたコミッショナーが、真に運動の担い手、推進役となることを期待するものです。

なぜ今改正なのか

先にも述べましたが、今回の改正は日本連盟組織の簡素化と責任体制の明確化、意思決定のスピードアップを図るためのものです。

なお、この改正は、平成11年度年次全国会議(奈良市で開催)における「教育本部機構改革関連の教育規定改正案に関すること」の、中央審議会の責務に関する改定案(中央審議会の責務から教育本部の運営および執行を除



き総長の諮問に応えるとしたもの)とはまったく異なるものであり、中央審議会の責務は一切変更していません。中央審議会は、従来通り審議決定をし、執行する機能を持ちます。

改正のポイント

① 隊・団に対する支援のため、団担当コミッショナーを置く。

実施に際しては、人材確保の面で移行期間を設け、また、当面の運用において兼務を可として、隊・団に対する支援の重要性に鑑み、この任を担当するコミッショナーを置くことをお願いします。

② コミッショナーは、本運動の教育・指導面の推進者、責任者として位置づける。また、日本連盟・県連盟・地区の各コミッショナーの任務に一貫性を持たせる。

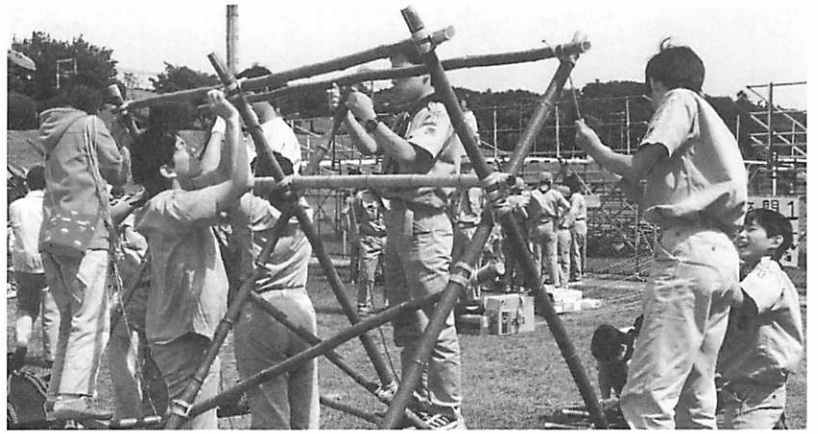
併せてコミッショナーの業務を整理しましたが、県連盟における理事会・委員会とコミッショナーの関係等に変更はありません。

③ 日本連盟教育本部に担当コミッショナーを置き、国際コミッショナーは、その1つである国際担当のコミッショナーとする。

日本連盟教育本部の組織の簡素化につなげ、コミュニケーションをより円滑にするためのもので、県連盟や地区に同名のコミッショナーを置くことや県連盟各組織の改変を求めるものではありません。また、日本連盟教育本部に担当コミッショナーを置くことにより、常設委員会委員長との関係を懸念される向きもありますが、次のように考えています。

- 委員会の主宰者は委員長であり、業務の責任者は委員長である。
- 担当コミッショナーは委員会に参画し、コミッショナーの立場で意見を述べ、事業の企画・推進に協同してあたる。
- 隊・団という運動の最前線で何が起きているのか、何が問題なのか、スカウトや保護者のニーズはどこにあるのかといった情報を得た上で、委員会の運営をしていきたい。そのためにも、[団・隊指導者] ▶ [地区(団担当)コミッショナー] ▶ [県連盟コミッショナー] ▶ [日本連盟コミッショナー] というラインによりコミュニケーションを深め、この情報パイプとしての担当コミッショナーの果たす役割は大きいと考える。

- 機関決定された施策を全国的に統一して実施する場合のことを考えると、[日本連盟コミッショナー] ▶ [県連盟コミッショナー] ▶ [地区(団担当)コミッショナー] ▶ [団・隊指導者]のパイプで、円滑、かつ迅速に展開されるようにする上で担当コミッショナーの役割は大きいと考える。



様々な議論

審議の過程において「委嘱から任命に」「県コミッショナーの委嘱は県連盟で」「任期の設定日も県連盟で」…という意見がありました。今回はできる限り多くの場で、また多くの方々のご意見を伺いました。相対する意見もありましたが、

- 「委嘱か任命か」は、アダルトリソース方針の観点から当初は「任命」としましたが、今回は「委嘱」に統一しました。
- 「県コミッショナーは他の県連盟役員と同様に、県連盟で委嘱するのがよい」は任務の系統性を持たせるため、日本連盟の方針と規定に従って展開を図る県コミッショナーは総長委嘱のままにしました。
- 県コミッショナーの12月任期は、あえて他の県連盟役員と変えて、県連盟総会における役員交代が円滑に進むよう、また、地区コミッショナーの6月任期も、他の地区役員と変えて地区総会における役員交代が円滑に進むよう、かつ、県コミッショナーグループとも時期を変えて相互交流が図れ、さらに、相互補完により隊・団に対して滞りなくコミッショナー支援が行えるように定められている現行規定を尊重しました。県連盟事情による12月および6月以外の途中交代を拒むものではありません。

さらに今回は、運動の基盤をなす団の充実を図り、未継続団発生をなくすために、「団担当コミッショナー」の新設を提案しました。

■ 施行予定日 ■

- ① 平成15年度年次全国会議において、総コミッショナー、副総コミッショナー、国際コミッショナー、副国際コミッショナーが改選となることから、教育本部のコミッショナーに関する規定改正の施行日は、平成15年度年次全国会議終了時とします。
- ② 団担当・県連盟・地区のコミッショナーに関する規定については、平成16年1月から施行します。

※今回は規定改正の主旨をお伝えしました。9月号で、改正された規定の詳細を掲載する予定です。

第36回世界スカウト会議を目前にして



2007年とその後に向けて —スカウティングの戦略—使命の達成 について考える

日本連盟副総コミッショナー 牛山佳久



戦略的優先課題については、2月までに各国連盟に事前アンケートが行われ、優先順位等について回答しています。日本連盟は関係役員の協議により、重要度として「1・2・5」の課題を、優先順位として「1・2・7」を回答しました。

21世紀初のスカウト会議が、ギリシャ・テッサロニキにおいて7月15日(月)～19日(金)の日程で開催されます。

今回の会議の大きなねらいは、スカウト運動創始100周年を迎える2007年までの歩みを、より強固にするための戦略の確立と確実な実行を図ること、そしてさらなる100年に向けてのスタートのための準備に入ることにあります。このため各国連盟に対して、7つの戦略的優先課題が提示されています。

今回の会議では、提案趣旨の説明後、グル

ープ討議や各国連盟代表団の討議を行い、全体会議での投票により3～4の優先課題を決議し、実行に移していくものと思われます。以下、世界スカウト機構からの提案議事内容の一部を紹介します。

21世紀に活力ある運動体

まず、2007年を境として、第2世紀に向かって「衰退への始まりか、それとも新たなスタートか、継続した発展と拡大の機会であるか」という問題提起がされています。

これは、今日までに世界のスカウト運動は151か国2,800万人の加盟員を有する、数少ない地球規模の青少年教育運動に発展してきたが、一方で「先進工業国では加盟員が減少しており、相当数の連盟では青年期の者たちがかなり減少しているため、急速に子どもたちのための連盟になろうとしている」との認識に立っているものです。

従って、21世紀に活力ある運動体としての「明確なビジョン」と「戦略の検討」が必要であり、これらを最新化すること、つまりそれぞれの社会で多様化するニーズに応えるのに必要な変化を確認し、対応する能力が求められていることとなります。

第31回世界会議(1988年/オーストラリア・メルボルン)「スカウティングの戦略に向けて」の決議以降、第32回世界会議(1990年/フランス・パリ)での「世界プログラム方針」の決議、第33回世界会議(1993年/タイ・バンコク)での「世界アダルトリソース方針」の決議、第34回世界会議(1996年/ノルウェー・オスロ)でスカウティングの本質的な検証のために行われた「何のためのスカウティングか? 誰のためのスカウティングか?」の討議、第35回世界会議(1999年/南アフリカ・ダーバン)での「スカウト運動の使命声明」の決議という一連の戦略的な思考過程を経て、今回は「使命の達成」に向けて、戦略課題を具体的に推進するための討議が行われます。

7つの戦略的優先課題

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1 青少年の参加 | スカウト教育法(Scout Method)の再活性化 |
| 2 青年期の者 | 彼らの成人期への移行を支援する |
| 3 少年少女、女性と男性 | 違いを尊重する、平等の促進、責任の共有 |
| 4 手を差し伸べる | 垣根を超えて、社会のすべての階層の人たちと活動する |
| 5 スカウティングにおけるボランティア | 成人による支援基盤を拡大する新たな取り組みを開発する |
| 6 21世紀に向けての組織 | 柔軟性を持った、スリムで革新的かつ、参加型を目指す |
| 7 スカウティングのプロフィール | コミュニケーション、協力関係、資源の強化 |

	7月15日(月)	7月16日(火)	7月17日(水)	7月18日(木)	7月19日(金)
運営時刻	午前	到着・受付	●スカウティングのための戦略 提案 ●国際登録料改定 ●世界スカウト委員選挙	●スカウティングのための戦略 戦略的優先課題(7項目)の提案	●スカウティングのための戦略 各国代表団討議 ●全体会議で投票
	午後	●事務手続き ●新規加盟登録 ●事業報告	●青年の参加 全体討議、決議 ●WAGGGS/WOSMの関係 ●プロンズウルフ表彰式	●優先課題についてグループ討議	●宗教組織間スカウトフォーラム ●世界スカウト用品 ●国際スカウト・ガイド友の会 ●世界スカウト国会議員連合 他
	夜	●開会式 ●歓迎レセプション	●市長主催夕食会	●ナオウサの夕べ	自由行動

スカウティングのニーズ

「戦略はスカウティングのニーズにどのように応えるか」ということに対して、次のような問題提起があります。

- 戦略は第35回世界会議で採択されたスカウティングの使命に基づいている
- 戦略は使命を実施する際に各国連盟が直面する鍵となる取り組みを考慮している。
- 戦略は21世紀のスカウティングの共通のビジョンを提起している。
- 戦略は3つの主要な分野に焦点を当てている。これらはスカウティングの成功にとって極めて重要である。
 - (a) 青少年のニーズと期待
 - (b) スカウティングの使命に貢献しようという成人の熱意
 - (c) 非政府組織の運営の新たな潮流
- 戦略は各国連盟が独自の行動計画を作るのに用いられるべき7つの戦略的優先課題を確認し、提案する。
- 戦略は世界と地域の機関が各国連盟を支援するために焦点を当てる分野を明確にする。

ビジョンの提案

ビジョンとして、以下が提案されています。
【我々のビジョンー我々はスカウティングを以下のようにする】

- 進んで自らの教育的役割を実行できる成人に支援されて青少年が自らの潜在能力を十分に伸ばす。ともに活動に参加するという使命達成に焦点を当てた1つの教育的、社会的勢力として第2世紀を迎える。
- 両性と社会のあらゆる階層からの青少年(特に青年期の者)をもっと多く惹きつけ、留まり続けさせるように、世界的な規模のものにする。
- すべての文化において、女性と男性の成人にとって魅力あるものにする。彼らが青少年とともに活動することで、社会に意義ある貢献ができる運動にする。
- すべてのレベルで組織、マネージメント、コミュニケーションが有効であり、適切な資源、シンプルな組織、民主的な意思決定のプロセスを持ったダイナミックで革新的な運動にする。

青年期の者について

さらに「期待される結果」の例として、特に2つの「青年期の者」について以下の方向性が提案されています。

- ① 2008年までに80%の連盟は
 - 青年期の年齢層のための青少年プログラムを見直す。
 - 青少年が寛大で人を思いやる社会に貢献するのに役立つように、教育目標を完全なものにする。
 - それらの目標にあったプログラムのツールと活動を作り出す。
- ② 2011年までに加盟員を増やすことで、各国連盟の少なくとも40%の青少年加盟員が15歳以上になるようにする。

優先戦略の提案理由

そして、先にあげた7つの優先戦略が提案されることとなっています。その提案理由の主なものは以下の通りです。特に1と2について詳細に述べます。

1 青少年の参加

スカウト教育法はスカウティングの基本的な要素であるが、必ずしも十分に運用されていない。スカウティングは成人によってマネージメントされる単なる青少年のための運動ではない。成人によって支援される青少年の運動である。そのためには、発達のプロセスに応じた青少年の積極的な参加が必要である。これらが正しく適用されたなら、スカウティングを青少年にとって最も魅力的なものにし、世界によりよい貢献がなされ、自己実現をする個人としての発達を可能にする。



今回は特に教育運動(ノン・フォーマル教育)としての特徴と価値とその方法の優位性を確認し、これからのスカウト運動を進展させていく方向性を討議する会議です。日本連盟としても明確な意思を表明するとともに、積極的に方針・決議の実行に取り組む必要があります。



加盟員の皆様は、日常の活動への取り組みが忙しく、なかなかこの運動の世界的な動きを追いかけることは大変なことだと思います。しかし、常に意識を高く持ち、視野を広げていくことは、基本的な心がけとして求められるものです。「より良いスカウティングをより多くの青少年に」提供するためには、常に世界の中のスカウト運動であることを忘れないでいただきたいと思います。



会議の結果については、後日「スカウティング」誌を通じて報告していきます。また、今回の会議では、国際登録料の変更も提案されています。現在のところ1人あたりの登録料が若干アップする見込みですが、支払いベースではほぼ同額になると思われます。

この基本的な要素を再活性化することは、スカウティングの魅力と使命にとって極めて重要なことである。

2 青年期の者

「青年期の者」は、多くの社会で極めて難しい問題となっており、スカウティングは多くの場合適切な対応ができないでいる。青年期の者が求めているのは、自由、自己実現、機会均等、よりよい教育、仕事、社会における創造的な役割を見出す能力等である。

青年期から成人への移行においてスカウティングの果たせる役割は、青年期の者のニーズと期待感にあったプログラムを開発することである。これらは仲間集団に重点を置くこ



指導者の皆様の現場でのご苦労やお悩みの多くは、今、世界が共通に抱えている問題です。青少年により良い教育環境を提供しようという理想と、その方法論の基盤となるものに国境はありません。あなた自身の問題として、この世界スカウト会議の行方注目していただきたいと思います。

と、責任の機会を与えること、青少年を意思決定に参画させること、また、青少年と支援、自信、本当の挑戦、大人の役割に取り組んでみる機会、社会に認められる技能の習得を提供できる成人との間に積極的な人間関係を育てることによって達成される。

3 少年少女、女性と男性

各国連盟はスカウティングのすべてのレベルで少年少女、女性と男性に機会の均等を与え、すべての人に新たな機会を与え、青少年加盟員の増加と成人のリーダーシップを通じて、連盟内の男性と女性の割合のバランスをもっと近いものにする。

4 手を差し伸べる

現在スカウティングが影響を及ぼしていない社会のニーズを明らかにし、そのニーズに応える仕組みを作ることが、加盟員の増加につながり、今日の世界にスカウティングの影響を増すことになる。

今回の提案内容等の翻訳については、前アダルトリソース委員会副委員長の於保信義氏にご尽力いただきました。

5 スカウティングにおけるボランティア

スカウティングに適用するようにボランティアの概念を定義し直す。スカウティングにおける成人の新しい集団をリクルートし、留まり続けさせるよう実践させる。

6 21世紀に向けての組織

WOSMと各国連盟が社会の変化し続けるニーズに敏感になれるよう、機構、システム、マネジメントを見直し、素早くかつ効果的に応えられるようにする。

7 スカウティングのプロフィール

すべてのレベルでコミュニケーション、協力関係、資源を作業を支えるのに重要なものとして強化する。

スカウト運動 第2世紀

以上が今回の世界会議で討議されるスカウト運動第2世紀を目指す「スカウティングの戦略」の概要ですが、先にもあげた通り、今回の重要なポイントは、3つの分野「青少年のニーズと期待」「スカウティングの使命に貢献しようという成人の熱意」「非政府組織の運営の新たな潮流」に集約されます。

これらの戦略課題の討議を通じて、第36回世界スカウト会議の方針として第2世紀に向けての決議が行われ、この会議の内容により、各国連盟は具体的な行動指針を策定して100周年の2007年に向けて、その後は次の100年に向けて前進していくこととなります。

戦略課題の多くは、WOSMおよび各国連盟（特に先進国連盟）の抱える問題点への解決策の提案です。これは、現在我が国のスカウト運動の抱える問題点、例えば人口減少、魅力あるプログラム開発、15歳以上の青少年加盟員の減少、青少年の参画、組織改革等と同様のものです。

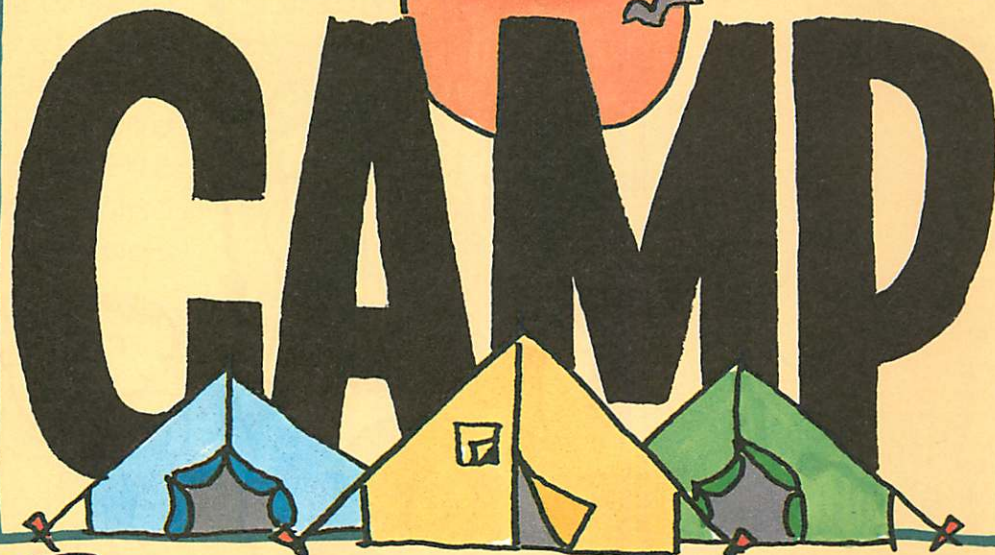
今日まで、WOSMおよび各国連盟との「教育」を中心とした情報の交流や、我が国からの情報発信は、「対岸のこと」として重視しない、またされない傾向にありましたが、皆共通の課題を抱えているのです。21世紀のスカウト運動の世界的な発展は、日本のスカウト運動の発展に通じるものです。国内での議論を通じて、共通の悩みを持つWOSMおよび各国連盟との、「教育」を中心とした協調体制を構築していくことが必要です。

JULY

キャンプは最大の冒険だ

Vol.10

Club Scout 2002



キャンプは楽しいぞ!

スカウト活動の中で、何が一番楽しいかと言えはやはり「キャンプ」だ。自然の中で過ごすのは、気持ちが良いし、たくさんの冒険ができるのだ。日常の生活を忘れて、学校の宿題も忘れて（ちょっと憶えておいた方が、良い場合もある）思いっきり遊ぶことができる。山へ、海へ…。森の中を歩いていくとそれだけで新しい発見があるだろう。

ごはんもおいしいぞ!!

なぜか野外で食べると食事までおいしく感じてしまうから不思議だ。きれいな空気を吸って、汗を流して、みんなで食べるカレーライスのは、実にすばらしい味がする。やっぱりキャンプのごはんはサイコーなのだ。



野外でゲームだぞ!!

スカウト活動の中には、野外で楽しめるゲームのバリエーションが、あり過ぎて困る程ある。友情を確かめあい、仲間同士がお互いをもっと良く知るためにもキャンプのプログラムとして行うゲームはとても重要なのだ。

これから、真夏にかけて最高のキャンプシーズンがやってくる。一生忘れられないような貴重な体験がたくさんできるはずだ。さあ今からしっかりと準備を整えようぜ。



自分たちで作った料理は特においしくて、ついつい食べ過ぎてしまう。腹八分目をキープするのもスカウトとしての心掛けだ。





薪になる木の枝や、はがれた木の皮などを拾い集める。全員の食事を作るのに必要な薪の量は、びっくりする程多い。でも頑張って拾ってこないことには、ごはんを食べることもできない。水汲みだって重労働だ。でもそうやって皆で手分けして、一生懸命働かないことには、誰も助けてくれないのだ。生きるための力を身につけなくてはならないのだ。



言い訳は、ゆるされない。自分の事は自分でできる力、皆のために働ける思いやり、仲間の気持ちを盛り立てながら、まとめてゆくリーダーシップ…。キャンプ生活を体験すれば、心も体もきたえられていくのだ。

自然の中に入ると、楽しいばかりではない。むしろ非常に厳しく、自然は容赦なく人々におそいかかってくるのだ。ルールを守り、冷静に状況を判断し、適切な行動を取らなくてはならない。自然の恐ろしさも知っておこう。



キャンプ中に突然雨が降り出すこともある。常に雨具は用意しておこう。特に山の天気は変わりやすいのだということを認識しておくことは大切だ。「さっきまで晴れていたのに急に空が暗くなって…」という経験は、先輩スカウトたちは必ず持っているはずだ。雨に濡れてしまうと急速に体温が奪われ、体力を消耗してしまう。健康管理もスカウトは自分で責任を持たねばならないのだ。せっかくキャンプに来たのに風邪をひいてテントに寝かされているのは、かなりダサイ。

キャンプファイア

キャンプの夜のお楽しみと言ったら、キャンプファイアだ。神秘的な炎のゆらめきを囲んで、歌をうたったり、将来の夢を話しあったり、ダンスで盛り上がり、スタンツに笑い転げる…。「あゝスカウトやってよかったなあ」「キャンプに参加してよかったなあ」としみじみ感じてしまうだろう。

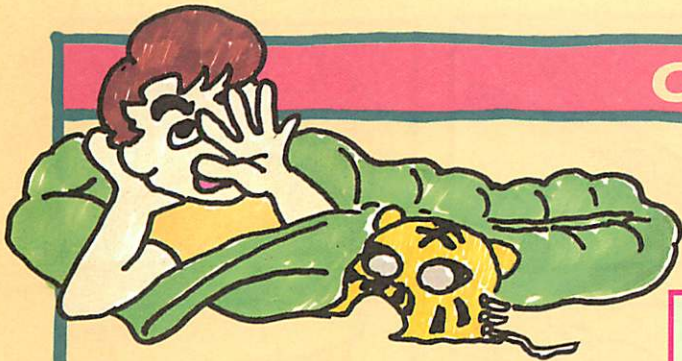
キャンプ計画を立てる場合もキャンプファイアに盛り上がりのピークを持ってくる感動的な演出が望ましいとされている。



火の始末、あとかたづけも大切だよ。次の人たちが気持ちよく使用できるようにね。



「野外料理。雨が降っていたりすると火を起こすのが大変だガオ〜!」



よく眠ることも大切

あまりにキャンプが楽しいからといって、睡眠時間を削ってまで遊びまわるといふ姿勢は、スカウト的には感心しない。しっかりと体を休めて次の日に備えるということも大切な活動の一環であると心得るべきだ。

キャンプでは多くの場合、シュラフ（寝袋）で寝る。日常的にこのスタイルで寝る人は、少ないと思われる。寝床が変わってもぐっすり眠れるようになるのも一種の技能なのだ。



「野外料理ならまかせて、栄養満点のスペシャルメニューを考えたいわ!」

野外料理は、作業を分担して手際よくやらなくてはならない。食事毎に当番を決めたり、少しずつ役割を振り分けてローテーションさせたり、皆の心が通い合わないと、いつまでたっても食事にありつけなかったり、1日中ではんばかり作っているような印象のキャンプになってしまう。ここでも協力することの大切さを学ぶことになるだろう。

燃え尽きたぜ...



証言1

楽器があれば、より一層キャンプが盛り上がる。レクリエーションの演出としてどんな楽器があれば効果的か考えてみよう。



まちがいのさがし

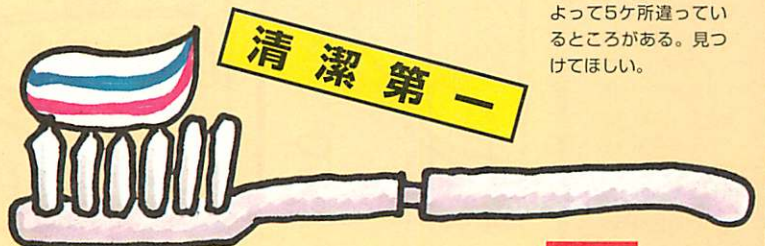
難易度=竹 (やや難しい)



スカウトは臭くない

キャンプの時に忘れてはならないことが、体の清潔を保つこと。顔も洗わない歯もみがかないというのは、イエローカードだ!

上のイラスト「い」「ろ」は、キャンプファイアでギターを弾きながらラブソングを歌い、彼女のハートをゲットしようとする少年を描いている。例によって5ヶ所違っているところがある。見つけてほしい。



証言2

何日もお風呂にも入らず下着を取り替えないということは、衛生面、健康管理面から見ても好ましいことではない。スカウトはキャンプ中も清潔第一でさわやかに過ごしたいものだ。きっとその方が良いことあるよ。

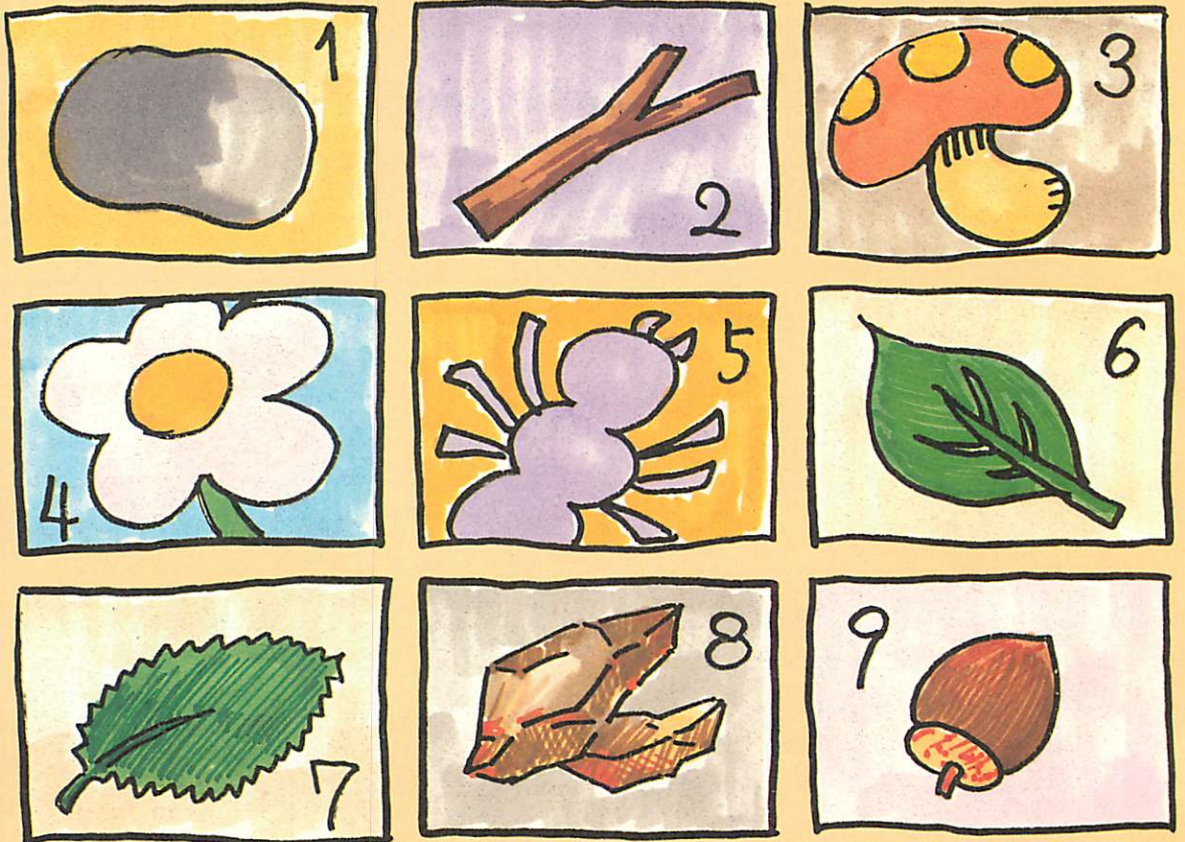
清潔にするのは良い事だが、ワイルドな野外活動なのだから、神経質になりすぎるのもいかがなものか。少し臭いくらいは気にしないのもスカウトだ。

【ヒント①】 制限時間や探す場所を限定して、自然観察に興味を持つきっかけのゲームとして活用できる。

BINGO

【入門編】

日帰りの野外活動ビンゴ（見つけたらチェックして、タテ・ヨコ・ナナメにそろったらビンゴ）
 1.丸い石 2.木の枝 3.きのこ 4.花 5.昆虫 6.丸い感じの葉 7.ギザギザのある葉 8.とがった石 9.木の実



【ヒント②】 活動に入る前にイラストを見ながら、生活・行動の目標を話しあうとよい。

BINGO

【倉宮に挑戦編】

1.自分で荷物を詰めた 2.空を飛ぶ鳥を発見 3.予定のコースを歩きぬいた 4.夜はグッスリ寝た 5.大きな声で歌った 6.クモの巣を発見 7.ツルが伸びた植物を発見 8.好き嫌いをせずにご飯を食べた 9.歯みがき・洗顔をした 10.道標で目的地へのコースを確認した 11.約束の時間を守れた 12.葉を食べる昆虫を発見 13.アリの大群を発見 14.薪運びをした 15.日中、帽子をかぶっていた 16.背の低い小さな花をつけた植物を発見



【ヒント③】 各項目クリアの条件を独自に設定し、難易を調整する（例「見た」だけでOKとするか、観察したものをスケッチしてクリアとするか…等）。13NJ参加のスカウトも活用できる。



【野営大会参加編】

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 甲虫の仲間を発見 | 13. トンボの仲間を発見 |
| 2. 他隊の男子スカウト（日本）のサイン | 14. ハサミを持った生物を発見 |
| 3. 木の実を発見 | 15. 鳥の巣を発見 |
| 4. 缶切りを使って缶を開けた | 16. 水を汲んで運んだ |
| 5. シュラフで寝る | 17. みんなで記念撮影をした |
| 6. テントを張る | 18. ピンク系の色の花を発見 |
| 7. 泳ぐ小魚を発見 | 19. 他隊の指導者のサイン |
| 8. ミミズを発見 | 20. 鳥の羽を発見 |
| 9. 他隊の女子スカウト（日本）のサイン | 21. 蝶を発見 |
| 10. けもの足跡を発見 | 22. 外国の女子スカウトのサイン |
| 11. 外国の男子スカウトのサイン | 23. 隊旗・班旗をデザインした |
| 12. ナイフを使って野菜や果物の皮をむいた | 24. お湯を沸かした |

JAMBOREE

ここにジャンボリー記念切手（7月15日発行、詳しくは24頁参照）を貼って、記念スタンプを押してもらおう。

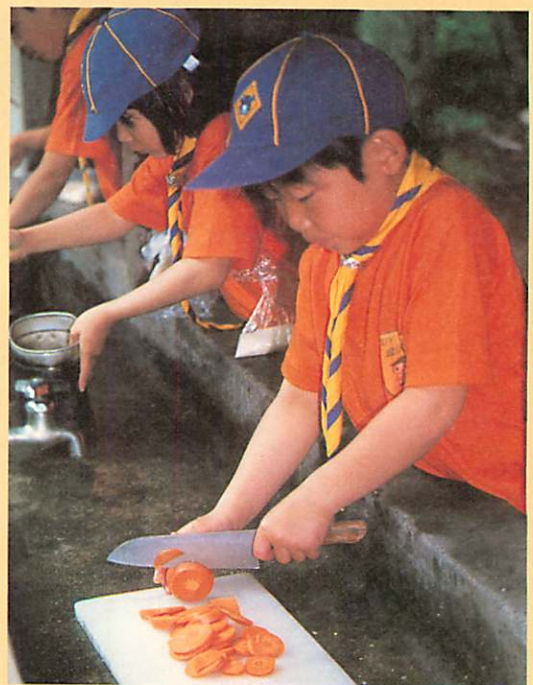
▲ 公式発行の切手に日付入りの消印。空いたスペースにきみの思い出等を記せば、世界で一つのメモリアルカードになるぞ。



野外料理で大さわぎ

キャンプに行って、はじめて自分のごはんを作ったというスカウトはいるかな？おうちの台所のように設備や道具がバッチリそろっているわけではない場所で料理をするのって、不便なようだけど、なぜかワクワクするよね。お肉、野菜、お米、それから調味料…。お鍋、フライパン、それから…。材料と道具をチェックしているだけで緊張がどんどん高まっていく。ここで落ちついて行動をしないと後で大変なことになることを忘れてはダメだ。刃物を使ったり、火にかけたりするということはケガをする危険性もあるのだ。スカウト諸君には胸の高鳴りをおさえつつ慎重に料理にチャレンジしてもらいたいものだ。

刃物を持つ時は、くれぐれも気をつけてね！
なれない手つきでも一生懸命だ！がんばれ！！





泣くなヌカウト

野外料理は、見た目ほどラクなものではない。重い荷物を運ぶようなこともあれば、細かい作業をコツコツやらなければならないこともある。あまりの厳しさに弱音をはく者も出てくるかもしれない。しかし、明るく楽しく料理に取り組んでも涙を流してしまうこともある。それは、タマネギの皮をむく時だ。こればかりは仕方がない。おいしい料理が食べたいければ、がまんするしかない。



キャンプ場では「水」は貴重品なのだ！



自然の中に水道はない。水まわりの設備が整ったキャンプ場でも、実際に調理し食事をする場所までは、ポリタンクなどを使って水を運ばなくてはならない。水がなければ、人は生きていけないのだから、こういう環境では、本当に水の大切さを思い知らされることになる。命というものをあらためて見つめ直す良いチャンスかもしれない。

そうめん流し



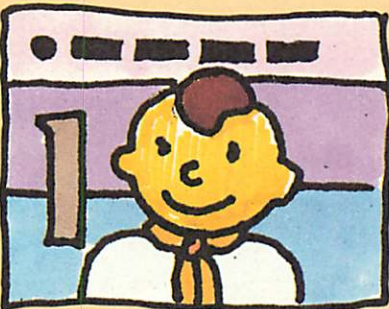
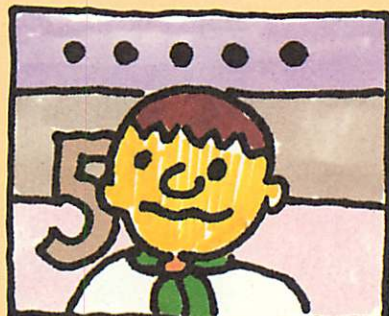
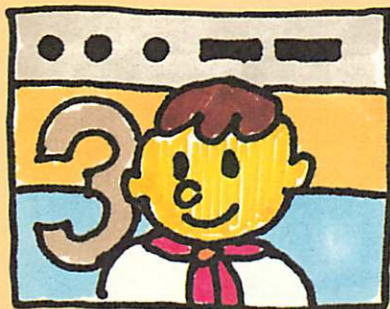
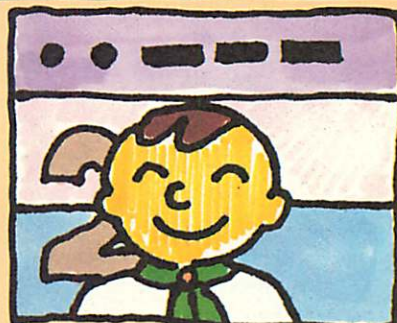
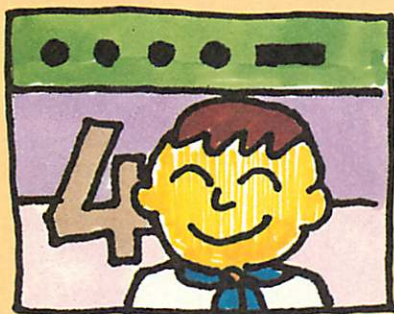
自然の中で食べると何でもおいしいと感じてしまう傾向があるが、そこにさらに演出を加えれば、楽しさもおいしさも倍増するに違いない。キーワードは「和」「伝統」「趣き」「静から動」「暑い中での冷」「創造性」「自然との融合」「早い者勝ちとなるゲーム性」…。
答えは、そうめん流し以外には考えられない。竹を割って林の中をぬうように走るウォーター・スライディング・レーン（そうめんが流れる溝）を作る。あまり角度をつけすぎると、はしでキャッチできないので、重力（g）とのバランスを微妙に調節するのだ。今年の夏のキャンプでは、ぜひそうめん流しにチャレンジしてみようではないか。



自分たちの力でごはんを作ってみると、いろいろな発見ができるはずだ。「ごちそうさま」のあとでみんなで話しあってみよう。



THIS TOO IS SCOUTING



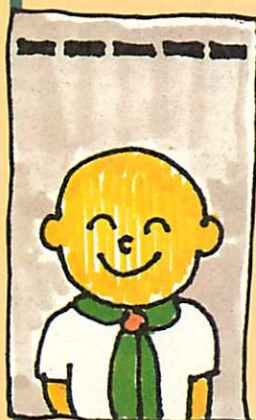
スカウトはモールス信号で遊ぶ

「短いトン●」「長いツー—」この2つの信号の組み合わせで文字を表わし、通信する手段がモールス信号だ。送り手と受け手が、記号の意味と、約束事を理解していれば、どんなに長い文章でも送ることができる。離れた場所にいる人とコミュニケーションをしようと、現代のスカウトたちは携帯電話をイメージするかもしれない。最近では、文字や画像も自由に送受信できるようになった。ものすごく便利な世の中になったのだが、通信の原理については、●—が考え出された頃と基本的には変わっていないのだ。

同じくスカウトらしいイメージの活動に手旗信号がある。これは、赤白の旗を持った腕の角度の組みあわせで、文字を表わし、意味のある言葉や文章を送りあうものである。これもまた通信という意味では、同じ原理であると考えて良いだろう。

モールス信号も手旗信号も日常生活の中で使用するような場面はほとんどない。普通に暮らしていれば、まず役立つようなことはないだろう。スカウトの中には「現代に役立たないことは憶える意味ないじゃん」と考える者もいるかもしれないが、ちょっとまってほしい。シンプルで、尚かつシステムチックに構築された信号のしくみの中には、たくさんの知恵やアイデアが凝縮されているのだ。実に合理的にまとめられ、便利に使えるよう工夫されていることが、信号を使った遊びの活動を通してわかってくるはずだ。

上のイラストは、モールス信号で数字を表わす場合に、●—をどう組み合わせるのかを示している。よく見ているとそこに一定の法則があることがわかってくるはずだ。信号のしくみがわかれば、おもしろいぞ。



これも「数字」を表わすモールス信号。スカウトのヘアスタイル等をヒントにその「数字」を当ててもらいたい。

隊長への手紙 信仰心を育むために

No.23

人に伝える前に大切なこと

宗教関係代表者会議構成員
小林 透



「世界がもし100人の村だったら」という本には、世界にいる63億人を100人の村に縮めて例えた話が掲載されています。この本には、「ザ・グローバル・シチズン」に収められた一遍のエッセイが、Eメールというボーダレスな通信手段で世界各地をサーフィンしながら、ひとつのメッセージへと結実していく過程があります。それは、そのメールを友人に送るときに、皆が自分の気持ちを書き足していったからです。この物語は、一人ひとりが「世界市民」という自覚のもとに生まれた、世界中を感動で包んだインターネットの民話です。

「ボーイスカウトがもし100人の村だったら」

全国のボーイスカウトを100人の村に縮めるとどうなるでしょう。100人のうち、64人がスカウトで22人が指導者です。残りの14人がスカウトたちの活動を手伝っている人です。

ビーバースカウトが10人、カブスカウトが20人、ボーイスカウトが19人、ベンチャースカウトが9人、ローバースカウトが6人います。

北海道・東北地方に6人、関東地方に34人、中部地方に25人、近畿地方に22人、中国・四国地方に6人、九州・沖縄地方に7人います。

いろいろな人がいるこの村では「ちかい」と「おきて」を守るように努力し、人のために役に立ちたい村人ばかりです。でも1年の間に村では3人の村人がいなくなり、来年、村人は97人になります。

B-Pは言いました。「この運動における我々の目的は、地球上に神の国をもたらすことができるように、若い人たちの生活の中に無私の善意と協力の精神、そしてそれらを日々の実践として教え込むものである」と。

もしもたくさんの私たちがこの村を愛することができたなら、村に4人の人を連れてこよう。そして、たくさんの人が訪れても、私たちが率先して「ちかい」と「おきて」を守るように努力し、人のために役に立つことができたなら…。訪れた人は村人となり、「ちかい」と「おきて」を守るように努力し、人のために役に立ちたいと思うはずで

このメッセージをたくさんの村人に伝えてください。自分の気持ちを書き足して…。



カヤックによるリバーツーリングの安全対策

東京・荒川第2団VS隊隊長 石井伸幸

「スカウティング」では、5月号・6月号と連続で安全対策について取り上げてきました。今月号では、活動報告の実例をもとに、具体的な安全対策についてご紹介します。

我々荒川第2団では十数年にわたり5月の連休を利用し、茨城県の御前山「なかよしキャンプ場」の指導のもとに、那珂川の35kmリバーツーリングを実施してきました。

川はプールではありません。日々、時間ごとに変化し、対応次第では非常に楽しく、間違えば小さな危険が大きな危険になることを理解しなければなりません。私たちは那珂川でのカヤック経験しかありませんが、これは他の川や海での活動、また登山や平地の野外活動においても、自然を相手にする場合は基本であると思います。



事前調査および訓練

川の水位、水温、危険箇所、上流での雨の有無による増水の有無、川の蛇行の変化など、なかよしキャンプ場のアドバイスを受け、その結果、実際に川沿いに車を走らせリーダーが確認作業を行います。この事前調査で大切なのは、どの川でも、地元の川に詳しい人のアドバイスを受け、かつまた自分の目で確認することです。地図や表面からでは、水中の危険箇所を見ることはできません。

もう一つ大切なことは、今の自分たちの技能レベルで対応ができるか否かの判断です。危険度の高い箇所があれば、艇を地上に上げ担いで歩き、その箇所を回避して安全なところから川に戻るような対応が必要です。

訓練は事前調査に基づき、スカウトたちに川の状態がどのようなになっているかを知らせ、どのような技術が必要かを教えます。

初心者は正規のインストラクターに指導を受け、経験のあるスカウトは自習と不足部分の指導をインストラクターから受けます。この訓練を1日かけて行います。

訓練の最後には、私たちが最重要視している「セルフレスキュー」「チームレスキュー」の訓練を、そのときの気象状況の良し悪しにかかわらず、インストラクターの厳格な指導のもとに必ず行います。

「セルフレスキュー」は、沈をした場合、自ら艇からの脱出を図り艇を浮き袋代わりとし、艇を回収し上陸を行う、またはその場で友艇の救助を待つものです。己の安全を自分自身が確保する、一番大事な技術です。

「チームレスキュー」は、友艇の沈および第三者を救助するために必要な技術で、私たちのツーリングにおいてはよく利用している救助方法です。救助する側が自分の能力を鑑みて行わなければ二次遭難を起こすことも考えられるので、慎重を要します。

この2つの救助方法を身につけ、自ら何度も沈を経験することは、ツーリングの途中で沈をしたとき、いたずらに動揺しないようにする大切な訓練です。



リバーツーリング時の安全対策

那珂川の35kmコースはツーリングだけであれば、休憩、食事を入れても6時間以内で下ることができる距離ですが、私たちは「カヤックによる移動キャンプ」という計画で実施しているため、1泊2日で行います。

リーダー3名、インストラクター1名、スカウト10名内外で行い、これを2班に分けます。班の編成は、先導はインストラクターまたはリーダー、続いて初心者、経験者、リーダーの順に一直線縦隊とします。先導者は常に前方の危険を素早く察知し、後方の艇に指示を与えなければなりません。指示の方法はリバーシグナルといって手、パドル、ホイッスルなどで行います。これは波の音で声がかき消されたり、艇の距離が離れている場合を想定しての指示方法です。

事前調査で確認する注意箇所として、川の中に存在する自然、人工の障害物への安全対策があります。自然の障害物として、川の中にいろいろな形で存在する岩があります。水中に完全に没している岩はその上を通過すれば問題ありませんが、わずかに頭を出している岩には要注意です。波に隠れていたり、太陽の照り返しで見逃しがちなのです。大きな岩は発見が早く心の準備ができていり、比較的容易に通過することができます。

私たちがツーリングで一番要注意としているのが「瀬」の存在です。これは川底の岩、急勾配、川幅の狭さなどにより、川面に激しく白波が立つ場所です。この場所を通過するためには川の流れに勝る速度を出すことと、白波に垂直に艇を入れ、パドルの動きを止めないで漕ぐことです。この場所は緊張しますが、通過したときの喜びはひとしおであり、カヤックの醍醐味でもあります。

人工の障害物は那珂川においては、主に川の曲がり角にあるテトラポットと橋桁と小さなヤナです。これも大きな岩同様発見が早いいため、回避ルートが容易です。まれに近づきすぎて、障害物の起こす渦の影響を受けそこから抜け出せず沈することがあります。

ツーリングの際の装備について、カヤック、パドル、ライフジャケットは、キャンプ場のものを使用しています。カヤックはフットプレイスの調整を行い、各自にあった艇を、ライフジャケットはツーリング時の命綱ですから、各人の体にフィットするものを選定します。靴は川辺の石のぬめりが強いいため、底が滑りにくく、水切れのよいものを使用します。

携帯品は天候の変化に対応できるように着替え、雨具、帽子と、応急手当用の医薬品など通常のキャンプと同様の装備が必要です。



リバーシグナルの例

- ・ストップ
両手を水平に上げるまたはパドルを頭の上で水平にする
- ・オールクリア
片手を垂直に上げるまたはパドルを垂直に立てる
- ・進路指示
通過すべきルートを片手で左右の方向を指示
- ・緊急事態の発生
片手またはパドルを垂直に上げて大きく左右に降り続ける

安全対策の基本は、陸上も水上も同じです。規律やルールを守り、楽しく活動するために、日頃から「未然に事故を防ぐために必要な事柄とは何か？」ということ、スカウトたちと話し合う機会を持つことが大切です。一人ひとりの意識レベルを高く保つことが、安全の第一歩です。当たり前のことを当たり前に積み重ねて、はじめて安全は確保されていくのです。

ボーイスカウト日本連盟創立80周年記念
第23回アジア太平洋地域

第13回日本ジャンボリー

会場：大阪・舞洲スポーツアイランド
期間：2002年8月3日(土)～7日(水)

「新しい時代の風をうけて」

～とびだそう 人と文化の森へ～



Volume 13

23rd ASIA-PACIFIC / 13th NIPPON JAMBOREE



ジャンボリー開催直前情報

待ちに待ったジャンボリーの開催まで、いよいよあと1か月となりました。参加の準備は万全でしょうか。今月号では、最終調整へ向けての直前情報をお届けします。

マーケット

初の試みとなる「13NJマーケット」では、今までのジャンボリーではなかった一部選択制(各参加隊ごと)を採用します。また、献立は「基本献立」とします。必ず献立の料理を作らなければならないのではなく、各参加隊オリジナル料理を作ることも可能です。

- 会場内にマーケットを2か所設置します。
- 各参加隊の利用するマーケットは、事前に決定されます。

- 運営時間 午前 9:00～11:30
午後 13:30～18:00
- 各参加隊に「13NJマーケット券」を事前に配布します。必要事項を記入の上マーケットに持参してください。
- 当日夕食、翌日朝食・昼食の3食分が1日の対応となります。
- 40人(参加隊構成人数)を1単位とします。外国スカウトについては別途対応します。
- 食材料搬送用具(リヤカー・カゴ等)、保管時の保冷用具(クーラーボックス等)は、各参加隊にて準備してください。保冷用の氷は、参加隊に1貫(約3.75kg)を毎日渡せるように計画しています。
- 調味料等は各SHQより、プロパンガス支給時に一緒に配給されます。

■基本献立

※今後の調整により、内容が変更になる場合があります。

	8/3(土)	8/4(日)	8/5(月)	8/6(火)	8/7(水)	8/8(木)
朝食		ご飯、みそ汁、卵 鮭、海苔、牛乳	ご飯、みそ汁、牛乳 ベーコンエッグ	ご飯、みそ汁 野菜炒め、牛乳	ご飯、みそ汁 ハムエッグ、牛乳	菓子パン、スープ 果物、牛乳
昼食	レトルト食	携行食	携行食	携行食		携行食
	レトルト食、スープ 飲物(選択)	オープンサンド 果物、飲物(選択)	セルフバーガー 果物、飲物(選択)	オープンサンド 果物、飲物(選択)	スパゲティー、スープ 果物、飲物(選択)	ビスケット、パン チーズ、飲物(選択)
夕食	おかず選択	おかず選択	おかず選択	大阪名物	おかず選択	
	①豚汁 ②肉じゃが ③けんちん汁	①牛丼 ②野菜炒め ③中華丼	①カレーライス ②シチュー ③ハヤシライス	お好み焼き 焼きそば 野菜サラダ デザート	①肉うどん ②焼きうどん	
	野菜サラダ 果物	スープ フルーツゼリー	野菜サラダ デザート		漬物 果物	

🍴 本部食堂

JHQ要員、SC要員、県連盟派遣団本部員、VS奉仕隊他が本部食堂での給食になります。

- 会場内に本部食堂を2か所設置します。
- 利用する食堂は事前に決定されます。
- 開設時間 朝食 7:00～8:30
昼食 11:30～13:30
夕食 17:00～18:30
- 利用者は、はし・スプーン・フォーク・コップ等を持参してください。

G プロパンガス

■プロパンガスを使用する理由

- ①13NJを「地球環境の大切さを学ぶ場」とすることを願い、薪よりも環境(空気や草地等)に優しいプロパンガスを使用する。
- ②調理時間を短縮することで、ジャンボリーならではのプログラム活動や、友情交歓のための時間的余裕を確保する。
- ③プロパンガスの使用を通して、ボーイスカウトとして環境問題について「考える・話しあうキッカケ」とする。

■プロパンガスの安全利用の基本原則

- ①プロパンガスの特性を十分に理解する
空気より重い、臭いがついている。
- ②安全な使用方法を正しくマスターする
ボンベとコンロは二メートル以上離す。
ボンベへの直射日光を避ける。
使用中はその場を離れない。
- ③使用前後の点検を必ず行う。

■大会本部が準備し、参加隊に貸与するもの

- ①プロパンガスボンベ
各隊/10キロボンベ2個相当
- ②レギュレーター(圧力調整器)
ボンベ1個に1個
- ③2口ガス栓(ヒューズ機構内蔵)
各隊/4か所分

■参加隊が携行品として準備するもの

- ①ゴムホース
オレンジ色のプロパンガス専用のもの。
コンロ1台に約2.5メートル必要。
- ②ゴムホースバンド
ゴムホース1本につき2個(家庭用で可)
- ③プロパンガス用コンロ
プロパンガス専用で、立ち消え安全装置付等、安全面に配慮した器具が望ましい。
- ④コンロ設置台
炊事しやすい、安全で丈夫な設置台。
- ⑤風よけカバー
コンロ周辺には不燃物で風よけを設け、立ち消えを防止する等安全対策をする。

◆ ◆ ◆
プロパンガス使用の留意事項、チェックリスト等を取りまとめた冊子を、県連盟を通じて全参加隊に配布しています。

プロパンガスは、正しく使えば危険が伴う燃料ではありません。事故の多くは、使用者の無知や誤解に起因する操作・使用・点検のミスから発生しています。参加者一人ひとりがプロパンガスの特性や使用方法を十分理解して、ジャンボリーに臨みましょう。



一般参観者(見学者スカウト・一般入場者)は、次の日時にジャンボリー会場を見学することができます。

入場される方は、ジャンボリー見学章(200円)を着用してください。

8/3(土)	14:00～21:00
8/4(日)	09:00～21:00
8/5(月)	09:00～21:00
8/6(火)	09:00～21:00
8/7(水)	09:00～21:00

※8月4日、6日の08:00～10:00、16:00～18:00は場外プログラムバス発着のため混雑が予想されます。夜間の見学については、19:00までに入場を終えてください。

環境に優しいプロパンガスの特性
薪(木材)との比較

- 同じ重量の薪とプロパンガスを燃やしたとき、プロパンガスは薪の約3.7倍の熱量カロリーを得ることができます。
- 同じ熱量を発生させたとき、二酸化炭素の発生量が、プロパンガスでは薪の約1/4(二酸化炭素の派生は、地球温暖化の最大要因とされています)



スカウト通信員

今回のジャンボリーでも、情報を満載した「ジャンボリー新聞」が発行され、内容充実の「FM局」が開局されます。紙面作り、番組作りのすべては、スカウト通信員の手によって行われます。皆さんの取材力やセンスに期待しています。前回、前々回の反省を踏まえ、スカウトが主役の新聞と放送を実現します。

FM放送

大会期間中、朝晩の1時間と毎奇数時の5分間、大阪のFM放送局エフエムキタの電波をお借りして、ジャンボリー情報が放送されます。周波数は78.9MHz。詳しくは、7月上旬配布予定のスカウト用「プログラムパスポート」をご覧ください。

夏とはいえ、朝夕の冷え込みには注意が必要です。長袖のセーター、カーディガンを用意する等、服装についての注意も必要です。

大会期間中の安全と健康は、自己管理が原則です。個人用の救急バッグを準備しておきましょう。救急絆創膏、消毒スプレー、虫よけ、胃薬、整腸剤等。常備薬も忘れずに。

健康管理のお願い

過去のジャンボリーにおいて、創傷、火(熱)傷はかなりの数が報告されています。スカウトにとって刃物や火の取り扱いは基本の技能ですが、慣れや自己過信から緊張感が緩んだときに、事故や怪我が発生します。特に、体力を消耗してくると注意力が散漫になり、重大な事故につながる可能性があります。

スカウトたちにとってジャンボリーの活動は楽しいと同時に、体力を消耗します。その結果として感冒性疾患や胃腸性疾患等が二次的に発生する場合があります。身体を清潔にして十分な睡眠をとることが一番の予防策ですが、スカウトたちは寸暇を惜しんでジャンボリーを楽しもうとします。気持ちは理解しても、時には強い指導が必要です。

日射・熱射病、熱中症に関しては、水分の補給を心がけ、水筒は絶対に忘れないようにしてください。また、夏の日差しは思ったよりも強いものです。帽子をかぶらなかつたり、潮風が気持ちよいかからといって肌をさらしていると、後で思わぬ痛い目に遭います。

虫よけ対策も必要です。風が止まる夜間の風(なぎ)の数時間は、蚊が発生しますので、防虫対策を講じてください。野外活動では、町の中にいるときよりも服装のTPOに気を使いましょう。期間中に怪我をしたり、病気になってしまつては、史上初の都市型ジャンボリーを楽しむことはできません。会場には中央救護所等、救援の体制は準備されていますが、救護所が繁盛することは誰も望んではいません。舞洲での楽しい思い出をたくさん残す秘訣は、まず健康であることです。

日頃の訓練の成果を十分に発揮し、楽しいジャンボリーとなるように各自事前の健康管理、安全管理に留意してください。



TP ジャンボリー売店情報

■2つの売店

2か所に売店を設置します(5月号会場図参照)。13NJの公式記念品を中心に、野営用品等を販売します。参加者・見学者の皆様のご来店をお待ちしています。

■会場だけの記念品

現在事前販売している記念品以外にも、会場だけの記念品を多数企画しています。また、各売店だけの記念品も企画します。詳しくはそれぞれの売店でお確かめください。

■ボーイスカウトカードの利用

購入には、ボーイスカウトカードが利用できます。カードをお持ちでない方は、この機会にぜひお申し込みください(お申し込みは☎0422-31-5165まで)。なお、他のクレジットカードはご利用いただけません。

■記念品は限定です

期間中でも、早い時点から特定の記念品が売り切れとなる場合があります。参加できなかった方へのお土産を予定されている方は、お早めにお求めください。

ジャンボリー切手発行



第23回アジア太平洋ジャンボリーの開催を記念した「ふるさと切手」(50円)が、近畿郵政局から平成14年7月15日(月)に発行されます。日本のボーイスカウトに関する切手は、1972年11月に発行されたボーイスカウト50周年以来、5回目になります。原則として関係地方郵政局管内の郵便局(今回は近畿郵政局)で販売しますが、それ以外の地域では右記の定例販売局でお買い求めいただけます。また、大阪中央郵便局においては、記念タウ台紙、記念切手シートホルダーの通信販売を予定しています。販売内容、購入方法にかんしては大阪中央郵便局(調整課 TEL 06-6347-8103)までお問い合わせください。

郵政局等	定例販売局
北海道	札幌中央、旭川中央、函館中央、釧路中央、北見、帯広、苫小牧、小樽
東北	青森中央、八戸、弘前、盛岡中央、釜石、北上、仙台中央、石巻、白石、秋田中央、大館、横手、山形中央、酒田、米沢、福島中央、郡山、いわき、会津若松
関東	水戸中央、ひたちなか、土浦、下館、宇都宮中央、足利、前橋、前橋中央、高崎、浦和中央、大宮、越谷、川越西、所沢西、熊谷、千葉中央、木更津、佐倉、鎌子、市川、柏、横浜中央、横浜港、川崎中央、平塚、座間、藤沢、横須賀、甲府中央、富士吉田
東京	全普通局
信越	全普通局
北陸	富山中央、高岡、魚津、金沢中央、小松、七尾、福井中央、敦賀
東海	岐阜中央、大垣、多治見、静岡中央、沼津、浜松西、名古屋中央、千種、豊橋、岡崎、一宮、半田、春日井、津中央、四日市
近畿	大津中央、京都中央、大阪中央、大阪東、神戸中央、奈良中央、和歌山中央
中国	鳥取中央、松江中央、広島中央、岡山中央、山口中央
四国	徳島中央、高松中央、松山中央、高知中央
九州	福岡中央、博多、博多南、北九州中央、久留米、飯塚、佐賀中央、長崎中央、佐世保、熊本中央、八代、大分中央、別府、宮崎中央、鹿児島中央、鹿屋、川内
沖縄	那覇中央

外国参加者申し込み状況

スカウト同士の国際交流、国際理解を深めるため、外国サイトを設けず、2人1組を原則に日本の参加隊に分散配属されます。外国

スカウトは班の一員として日本スカウトとともに生活し、プログラムに参加します。

各SCには、外国参加者が80~100人程度配属され、約70%以上の日本の参加隊が外国スカウトを受け入れることになります。



外国スカウトの中には、日本連盟が招待する平成13年度海外スカウト受入計画(23か国69人)、13NJ外国スカウト特別招待計画(8か国24人)、日米スカウト交歓計画(アメリカスカウト招聘)事業(35人)、日韓スカウト交歓計画(韓国スカウト招聘)事業(116人)が含まれています。

装備・テント

外国スカウトには、寝袋・雨具・水泳着・食器・懐中電灯等の個人野営具を持参するよう連絡しています。配属される外国スカウトのテント・炊具・工具については、受け入れる日本隊において準備したものを使用しますが、外国スカウトのためだけのものを準備する必要はありません。

食材料の提供

外国スカウトは日本のホスト隊の中でともに生活し、同じメニューで自炊します。宗教上の理由等による食事制限がある外国スカウトについては、JHQ国際センターと施設・食料センターで食材料を調整の上、SCに提供します。

外国指導者

外国指導者はSCにおいて各隊へ配属を行うが、SCスタッフとして受け入れ、自国スカウトの配属ホスト隊を巡回し、指導と連絡にあたります。

外国派遣団のSC配属

各国派遣団の参加人数確定後、大会前後のホームステイ、姉妹都市交流、外国派遣団の希望等を考慮し、調整されます。

参加国		参加形態	スカウト数	指導者数	合計
Australaria	オーストラリア	海外スカウト受入計画	2	1	3
		自費参加	3	0	3
Bangladesh	バングラデシュ	海外スカウト受入計画	2	1	3
Bhutan	ブータン	海外スカウト受入計画	2	1	3
Brunei Darussalam	ブルネイ ダルサラーム	海外スカウト受入計画	2	1	3
Scouts of China (Taiwan)	中国(台湾)	海外スカウト受入計画	2	1	3
		自費参加	190	25	215
Fiji	フィジー	海外スカウト受入計画	2	1	3
		自費参加	0	1	1
China (Hong Kong)	中国(香港)	海外スカウト受入計画	2	1	3
		自費参加	74	43	117
India	インド	海外スカウト受入計画	2	1	3
		自費参加	2	0	2
Indonesia	インドネシア	海外スカウト受入計画	2	1	3
		自費参加	10	3	13
Kiribati	キリバス	海外スカウト受入計画	2	1	3
Korea	韓国	海外スカウト受入計画	2	1	3
		日韓スカウト交歓計画	100	16	116
China (Macau)	中国(マカオ)	海外スカウト受入計画	2	1	3
Malaysia	マレーシア	海外スカウト受入計画	2	1	3
Maldives	モルジブ	海外スカウト受入計画	2	1	3
Mongolia	モンゴル	海外スカウト受入計画	2	1	3
		自費参加	9	0	9
Nepal	ネパール	海外スカウト受入計画	2	1	3
New Zealand	ニュージーランド	海外スカウト受入計画	2	1	3
		自費参加	1	0	1
Pakistan	パキスタン	海外スカウト受入計画	2	1	3
Papua New Guinea	パプアニューギニア	海外スカウト受入計画	2	1	3
Philippines	フィリピン	海外スカウト受入計画	2	1	3
Singapore	シンガポール	海外スカウト受入計画	2	1	3
Sri Lanka	スリランカ	海外スカウト受入計画	2	1	3
Thailand	タイ	海外スカウト受入計画	2	1	3
		自費参加	4	3	7
Bolivia	ボリビア	13NJ外国スカウト特別招待計画	2	1	3
Denmark	デンマーク	13NJ外国スカウト特別招待計画	2	1	3
Egypt	エジプト	13NJ外国スカウト特別招待計画	2	1	3
Ghana	ガーナ	13NJ外国スカウト特別招待計画	2	1	3
Greece	ギリシャ	13NJ外国スカウト特別招待計画	2	1	3
Honduras	ホンジュラス	13NJ外国スカウト特別招待計画	2	1	3
Russia	ロシア	13NJ外国スカウト特別招待計画	2	1	3
Zambia	ザンビア	13NJ外国スカウト特別招待計画	2	1	3
Finland	フィンランド	自費参加	1	0	1
Italy	イタリア	自費参加	0	3	3
Netherlands	オランダ	自費参加	0	1	1
U. K.	イギリス	自費参加	27	4	31
Canada	カナダ	自費参加	9	6	15
U. S. A.	アメリカ合衆国	日米スカウト交歓計画	30	5	35
		自費参加	211	61	272
合 計			733	202	935

※参加および人数は調整中のものです(6/5現在)。

JAMBOREE

舞洲で笑顔に会える

ボーイスカウト日本連盟創立80周年記念
第23回アジア太平洋地域

第13回日本ジャンボリー

会場：大阪・舞洲スポーツアイランド
期間：2002年8月3日(土)～7日(水)

「新しい時代の風をうけて」
～とびだそう 人と文化の森へ～



財団法人

ボーイスカウト日本連盟

楽しいジャンボリーに!!

ボーイスカウト日本連盟中央審議会議長
ボーイスカウト群馬県連盟副連盟長

新藤 信夫

1NJ～12NJ連続皆参加の方
ご連絡ください。

13NJの会場で会いましょう。

大阪連盟堺第24団副団委員長

佐藤 茂弘

〒593-8327 大阪府堺市鳳中町1-15

APRスカウトを歓迎し、
友情を深めよう!

総コミッショナー

鈴木 国夫

副総コミッショナー

牛山 佳久

副総コミッショナー

樽谷 進

祝

第23回アジア太平洋ジャンボリー
(第13回日本ジャンボリー)

『国際交流と友情の輪を!!』

国際コミッショナー

松平 頼武 (香川連盟・連盟長)

副国際コミッショナー

小町 國市 (東京連盟・理事)

副国際コミッショナー

前原 一雅 (日本連盟・評議員)

第23回アジア太平洋地域ジャンボリー/第13回日本ジャンボリーの開催を祝い、成功を祈ります。

「21世紀をSCOUTING-CENTURYにしよう!」

秋田・秋田21団/福島・福島21団/群馬・高崎21団/埼玉・川口21団/千葉・千葉21団/東京・新宿21団/東京・世田谷21団
神奈川・川崎21団/神奈川・横須賀21団/神奈川・藤沢21団/静岡・沼津21団/静岡・富士宮21団/静岡・浜松21団/岐阜・岐阜21団
富山・高岡21団/石川・金沢21団/福井・福井21団/三重・四日市21団/滋賀・大津21団/兵庫・尼崎21団/兵庫・西宮21団
大阪・大阪21団/大阪・豊中21団/大阪・吹田21団/大阪・堺21団/和歌山・和歌山21団/広島・広島21団/福岡・福岡21団
鹿児島・鹿児島21団

日本ボーイスカウト 全国21団クルーズ

第7サブキャンプ

北海道・東北ブロック

北海道、青森、岩手、宮城、
秋田、山形、福島

北海道、青森、岩手、宮城、秋田、
山形、福島、新潟、富山、石川、
福井、長野、静岡、大阪
14の県から38こ隊参加

夢洲通り東沿いのキャンプです

第8サブキャンプ

九州・沖縄ブロック

福岡、佐賀、長崎、熊本、
大分、宮崎、鹿児島、沖縄

東京、大阪、岡山、広島、山口、
愛媛、福岡、佐賀、長崎、熊本、
大分、宮崎、鹿児島、沖縄
14の県から43こ隊参加

舞洲通り北側東のキャンプです

第9サブキャンプ

中国・四国ブロック

鳥取、島根、岡山、広島、山口、
徳島、香川、愛媛、高知

愛知、大阪、鳥取、島根、岡山、
広島、山口、徳島、香川、愛媛、
高知、熊本
12の県から35こ隊参加

舞洲通り北側中央のキャンプです

ガールスカウト

秋田、茨城、群馬、千葉、
東京、神奈川、山梨、岐阜、
三重、滋賀、京都、大阪、
兵庫、奈良、鳥取、大分、沖縄

17の県から6こ隊238人参加

常吉大橋傍のキャンプです

みなさんの楽しいジャンボリーを支援します！ JHQ6つのセンター

■総務センター

見学者の案内、2つのスカウト用品売店
など、各種のサービスを提供します。

■広報センター

新聞、FM、ホームページなど、各種の
情報でサポートします。

■キャンプセンター

救護、輸送、環境保全など、快適なキ
ャンプのために日夜活動します。

■国際センター

数多くの外国からの参加スカウトとの
生活・交流をサポートします。

■プログラムセンター

バラエティ豊かなプログラムで、楽しく
充実したジャンボリーを！

■施設・食料センター

マーケット、燃料、資器材全般。キ
ャンプの基礎からみなさんを支えます。

日本最大の湖・琵琶湖で、ダイナミックなフィッシングを！

日本ボーイスカウト滋賀連盟

〒520-0044 滋賀県大津市京町4-1-1 滋賀県教育委員会生涯学習課 電話：077-522-3681

歴史探訪ハイキングコース各種を設け、みなさんの参加を歓迎します

日本ボーイスカウト京都連盟

〒601-8047 京都府京都市南区新町通九条下る 京都府民総合交流プラザ3F 電話：075-662-8801

阪神淡路大震災の支援に感謝申し上げます

海、山、橋、城、町、温泉 美しい兵庫をめざして 多彩なプログラムでお待ちしています

日本ボーイスカウト兵庫連盟

〒650-0044 兵庫県神戸市中央区東川崎町1-1

「古都奈良の世界文化遺産」と「石造物遺跡の飛鳥」

7世紀から8世紀の世界をちょっと覗いてみませんか。歴史と自然が一杯ですよ。

日本ボーイスカウト奈良県連盟

場外プログラム奈良基地担当・亀岡晶幸 飛鳥基地担当・辻本忠彦

23rd ASIA-PACIFIC/13th NIPPON JAMBOREE

「舞洲で会いましょう！」

2002 MAISHIMA, OSAKA

楽しいプログラムがいっぱい！ 21世紀初の都市型ジャンボリーを成功させましょう

弥

第13回日本ジャンボリー

全員集合

8月5日 大谷スカウトの集い

南御堂(難波別院) バスを運行

榮

大谷スカウト連合協議会

事務局

真宗大谷派宗務所青少年部

会計監査

事務局長 東谷 智

書記

近松 誉
加藤 真樹

委員

本田 和正
生田 亮俊
阿部 聡子
高谷 俊賢
奥田 祐賢
滋賀 俊正
春近 寛
安田 寛
玉井 寛
大谷 覚
原 以知
六平 晋一
片岡 巧
能上 正巳
井垣 正弘
藤井 光哉
北條 堅
森田 了
黒川 紘
堀山 秀之
秋山 祐成
北本 秀繼
綿本 勝恵
大橋 友啓
井上 法英
石神 明

常任委員

副委員長

委員長

顧問

先師

鈴木 了正
藤懸 了雄
大谷 演慧

<http://homepage2.nifty.com/tanisco>

Step up!
総務委員会

委員長(中審・東京) 富岡 賢一
副委員長(中審・山梨) 古屋 政美
" (大阪) 吉原 宏一
委員(東京) 有野 廣
" (愛媛) 一色 正士
" (千葉) 岸本 幾代
" (岩手) 小林 茂夫
" (東京) 春田 知男
" (愛知) 山村 叡

Let's go!
プログラム委員会

13NJ BS改訂ブース開設!

委員長(中審・大阪) 谷口 修
副委員長(東京) 田中 和男
" (大阪) 福田 雅之
委員(新潟) 池 良弘
" (埼玉) 板谷 喜代子
" (神奈川) 逢坂 伸一
" (京都) 奥村 光伸
" (東京) 神田 幸博
" (中審・大阪) 積川 淳一
" (千葉) 広谷 信子
" (兵庫) 南 秀生

Enjoy!
アダルトリソース委員会

委員長(中審・奈良) 村田 禎章
副委員長(東京) 小林 孝之助
" (愛知) 沼澤 光男
委員(群馬) 今井 健介
" (富山) 岩川 剛子
" (山梨) 大森 純子
" (大阪) 小倉 匡平
" (埼玉) 木南 信一
" (東京) 佐藤 隆良
" (兵庫) 山田 明良

9月号はジャンボリー特集

『スカウティング』

取材写真満載
お見逃しなく!!

燃える青春! 13NJの夏

中央宣興株式会社
代表取締役

大澤 茂

ジャンボリーに魂をぶつけれ!

株式会社博進企画印刷
博進エンジニアリング株式会社
代表取締役

浅井 美博

WELCOME!! 第23回アジア太平洋地域ジャンボリー 第13回日本ジャンボリー

地区協議会副会長 中堂 光教	地区協議会副会長 田中 博	地区協議会副会長 福田 雅之	地区協議会副会長 伊東 徹二	地区協議会副会長 東江 勲	地区協議会副会長 堀端 達真	地区協議会副会長 小川 時弘	地区協議会副会長 梶山 圭一	地区協議会副会長 松延 雅裕	地区協議会副会長 宗石 憲宏	地区協議会副会長 建元 俊二	地区協議会副会長 佐藤 隆志	地区協議会副会長 越智 俊夫	地区協議会副会長 山口 英孝	地区協議会副会長 山口 耕司	地区協議会副会長 山田 耕司	地区協議会副会長 安達 昌弘	地区協議会副会長 山口 英孝	地区協議会副会長 安全管理委員長 山口 英孝	地区協議会副会長 財務委員長 田村 陽	地区協議会副会長 IT委員長 河合 浩司	地区協議会副会長 13NJ委員長 伊東 徹二	地区協議会副会長 伊藤 徹二	地区協議会副会長 藤本 登代	地区協議会副会長 小林真二郎	地区協議会副会長 見澤 倫子	地区協議会副会長 大石 勝利	地区協議会副会長 松尾 澄正	地区協議会副会長 佐々木啓氏	地区協議会副会長 別所 俊顕	地区協議会副会長 春日 陽三	地区協議会副会長 渡部 清数	地区協議会副会長 川村章三郎	地区協議会副会長 加茂田 甲	地区協議会副会長 武田 慶一	地区協議会副会長 西野昭三郎	地区協議会副会長 佐藤 俊夫			
大阪第二団 委員長 長	大阪第八団 委員長 長	大阪第一八団 委員長 長	大阪第四一団 委員長 長	大阪第四三団 委員長 長	大阪第四四団 委員長 長	大阪第四六団 委員長 長	大阪第四七団 委員長 長	大阪第四五団 委員長 長	大阪第六五団 委員長 長	大阪第六八団 委員長 長	大阪第七〇団 委員長 長	大阪第七六団 委員長 長	大阪第七六団 委員長 長	大阪第八六団 委員長 長	大阪第九三団 委員長 長	大阪第九八団 委員長 長	大阪第九八団 委員長 長	大阪第一〇三団 委員長 長	大阪第一〇四団 委員長 長	大阪第一〇七団 委員長 長	大阪第一一〇三団 委員長 長	大阪第一一〇三団 委員長 長	大阪第一一〇三団 委員長 長	大阪第一一〇三団 委員長 長	大阪第一一〇三団 委員長 長	大阪第一一〇三団 委員長 長	大阪第一一〇三団 委員長 長	大阪第一一〇三団 委員長 長	大阪第一一〇三団 委員長 長	大阪第一一〇三団 委員長 長	大阪第一一〇三団 委員長 長	大阪第一一〇三団 委員長 長	大阪第一一〇三団 委員長 長	大阪第一一〇三団 委員長 長	大阪第一一〇三団 委員長 長	大阪第一一〇三団 委員長 長			
中堂 光教	高畦 孝一	巨津 善祐	目幸 文範	橋本 耕治	野々口恭一	森田 清照	墨林 浩	荒木 洋	小林真二郎	川村章三郎	平山 武秀	別所 俊顕	寺井 種伯	道野 真澄	春田 聖市	田中 博	松尾 澄正	山村 秀忠	西田 俊幸	山地 正展	山田 耕司	佐々木啓氏	佐々木啓氏	佐々木啓氏	佐々木啓氏	佐々木啓氏	佐々木啓氏	佐々木啓氏	佐々木啓氏	佐々木啓氏	佐々木啓氏	佐々木啓氏	佐々木啓氏	佐々木啓氏	佐々木啓氏	佐々木啓氏	佐々木啓氏	佐々木啓氏	佐々木啓氏

日本ボーイスカウト大連連盟なにわ地区 <http://bs-naniwa.com> 舞洲はホームグラウンド

Oh! Yeah! 国際委員会

委員長 (中審・千葉)	山田 龍雄
副委員長 (中審・神奈川)	鈴木 令子
委員 (中審・茨城)	吉田 俊仁
委員 (神奈川)	青木 崇行
委員 (愛知)	檀上 善夫
委員 (兵庫)	堤 正
委員 (愛媛)	中野 まり
委員 (千葉)	増田 秀夫
委員 (京都)	柳澤 傳
委員 (東京)	山内 直元



13NJでのロータリークラブの例会に参加しましょう

(8月7日12:30 大阪咲洲RC)

上島 真一郎
(東京銀座ロータリークラブ)

松平 頼武
(東京北ロータリークラブ)

佐野 哲也
(神戸須磨ロータリークラブ)

犬飼 康元
(長野・松本ロータリークラブ)

<スローガン>

より良いスカウティングを、より多くの青少年に!!

<重点目標>

スカウトの胸に友情バッジを

各団が「+5、-0」を達成しよう!

財団法人 ボーイスカウト日本連盟

理事長	佐波 正一	副理事長	橋本 綱夫
常務理事	上島 真一郎	常務理事	石田 文夫
総長	渡邊 昭	事務局長	高井 英行

〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
TEL 0422(31)5161 FAX 0422(31)5162

E-mail info@scout.or.jp

URL <http://www.scout.or.jp/>



SCOUTING JAPAN

JULY
2002

日本連盟からのお知らせ

組織拡充ステップ・アップ事例発表会

加盟員減少が続いている中、全国の約40%の団で前年比同数あるいは増加しています。中でも組織拡充に積極的な取り組みを行い、成果を上げた組織の活動事例を、平成14年度年次全国会議において紹介しました。

□日 時 平成14年5月18日(土)

年次全国会議議事終了後

□導入説明 富岡日本連盟総務委員会委員長 中期組織拡充計画「ステップアップ・スカウト運動21世紀」について

□発表者および発表内容

1. 愛知・半田第1団 団委員長 並松 猛

同団の環境条件、団の構成員数の推移、組織拡充への具体的取り組みについて紹介。



2. 鳥取・鳥取第2団 団委員長 細田利夫

ビーバー隊長 吉田晴夫

同団で実施している取り組みとして、年間計画に沿った活動、保護者の理解を得るための対策、募集活動の展開等を紹介。



3. 静岡・静岡第7団 団委員長 森 保

中期組織拡充計画の期間中、組織拡充に向けて同団が団行事と同時に実施している募集活動と、各隊での上進促進プログラムについて紹介。



4. 千葉県連盟 県コミッショナー 菊地康介

1万人を超える県連盟として4年連続の加盟員数増加を果たした同県連盟が実施している「+5、-0運動」と、その実現に向けて行った各種の施策について紹介(12頁参照)。



□講評 日本連盟総コミッショナー 鈴木国夫



各組織の活動の詳細についても現地取材を実施し、順次『スカウティング』誌上で紹介していく予定です。

お知らせ 世界のボーイスカウト切手

7月15日にジャンボリーの開催を記念して切手が発行されます(24頁参照)。切手の発行に先立ち、趣味の切手コレクターの間で有名な(財)日本郵趣協会発行の月刊誌『郵趣』6月号(定価600円・税込)に、世界のボーイスカウト切手に関する特集記事が4頁にわたって掲載されています。

切手コレクターでなくとも、見ていただけで楽しい内容になっています。歴史や世界的な広がりを実感するためにも、ぜひご覧いただきたいと思います。

この冊子に関するお問い合わせ、ご購入の相談は下記へお願いします。

(財)日本郵趣協会事務局(日月祝日定休)
電話 03-5951-3311

ホームページで指導者訓練に対する意識調査(アンケート)を実施中

<http://www.scout.or.jp/>

「アダルトリソース方針に基づく指導者訓練体系の全面的改定」の新訓練体系全体像を策定するため、日本連盟に「指導者養成訓練体系検討特別委員会」が設置されました。同委員会では、多くの指導者からのご意見を参考に検討していくこととしており、取り組み状況等をWEB上で公開していきます。

その第1弾として、ホームページで「指導者訓練に対する意識調査」を行っています。ぜひ、アクセスしてアンケートにお答えいただけますよう、ご協力をお願いします。

今後は、会議記録や意識調査の集計結果等も掲載していきます。

日本連盟創立80周年記念 青少年シンポジウム ~どうすれば自らを創れるか~

□日 時 7月7日(日) 13:00~16:00

□内 容

第1部 基調講演 13:00~13:50

グレゴリー・クラーク

(多摩大学名誉教授・日本連盟理事)

第2部 シンポジウム 14:00~16:00

コーディネーター

山本 肇(NHK解説委員)

パネリスト

石川 直樹(世界7大陸最高峰最年少登頂者)

河合 雅雄(兵庫県立人と自然の博物館館長)

谷井 昭雄(松下電器産業相談役・日本連盟理事)

山口 良治(前伏見工業高校ラグビー部監督)

山田満知子(フィギュアスケートコーチ)

□会 場 NHK大阪ホール

□入場料 無料

□放送予定 7月26日(金) 23:00~

NHK教育テレビ「金曜フォーラム」



新しい世紀を迎え、社会状況は刻々と変化を遂げています。経済状況による社会の構造的変革が余儀なくされ、戦後から続いてきた我が国のあり方が問われています。

日本の青少年活動をリードし、社会教育、特にノン・フォーマル教育団体として、自治能力があり、助けとなり、責任を持ち、献身的である青少年の成長を目指す運動を展開している(財)ボーイスカウト日本連盟は、本年創立80周年を迎えるのを機に青少年の育成を考えるシンポジウムを開催します。

情報コーナー

平成14年度「自然に親しむ運動」

全国の自然公園、景勝地、休養地および身近な自然地域において自然に親しむための行事を通じ、自然に対する理解を深め、自然環境の適正利用の普及を推進するとともに、自然を大切にすることを育みます。

7月24日(水)、25日(木)の2日間、十和田八幡平国立公園「十和田地域」で、第44回自然公園大会が開催されます。

- 期 間 7月21日(日)～8月20日(火)
- 重点目標 自然とのふれあい
- 主 唱 環境省、都道府県、市町村、(財)国立公園協会
- 後援(予定) 内閣府、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省
- 協 力 (財)ボーイスカウト日本連盟 他27団体

平成14年度「道路ふれあい月間」

この運動は、道路を利用している国民に改めて道路とふれあい、道路の役割および重要性を再認識してもらい、さらには道路を慈しむという道路愛護思想の普及および道路の正しい利用の啓発を図り、道路を常に広く美しく、安全に利用する気運を高めることを目的とします。

- 期 間 8月1日(木)～8月31日(土)
- 主 催 国土交通省、都道府県、市町村、日本道路公団、首都高速道路公団、阪神高速道路公団、本州四国連絡橋公団、地方道路公社 (財)国立公園協会
- 後援(予定) 内閣府、警察庁、総務省、文部科学省、厚生労働省、環境省
- 協 力 (財)ボーイスカウト日本連盟 他

宛先

〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
 (財)ボーイスカウト日本連盟
 組織グループ 広報・国際渉外チーム
 FAX 0422-31-5162

スカウトロータリアンの皆様へ

13NJには全国から大勢のロータリー会員が参加します。第2600地区ガバナーのご理解を得て、ジャンボリー会場に一番近い大阪^{さかい} 咲洲ロータリークラブがホストクラブとなり、例会を開催し、皆様をお迎えすることが決まりました。アジア太平洋地域アンソニー・タン議長も例会に出席される予定です。

- 日 時 8月7日(水) 12:30～
- 場 所 大阪咲洲ロータリークラブ例会場
ハイアット リージェンシー オオサカ
- 送 迎 会場まで船で送迎します。
 - 往路 乗船場に11:30集合
ジャンボリー通りを海側へまっすぐに進んでください。船着場は1か所ですので、すぐにわかります。
 - 復路 14:00出発
例会終了後、すぐに移動してください。
- ※往復とも船着場の接岸時間に制限がありますので、時間厳守でお集まりください。
- 世話人 上島真一郎(東京銀座RC)
松平 頼武(東京北RC)

フォトエッセイ募集

「スカウティング」の目次とカレンダーの頁で紹介しているフォトエッセイのコーナーで、日頃のスカウト活動や季節の話題等に関連した、その月にふさわしい意見、アイデア、思い出、感想等と写真を組み合わせで紹介しています。恒例の行事や季節を感じさせる話題を紹介できそうな写真をお持ちでしたら、300字以内の文章を添えてお送りください。毎月、最もその月の話題にふさわしい作品を1点ご紹介いたします。

体験入隊イベント 実施計画・報告大募集

地域の子どもたちにスカウト活動の楽しさを知ってもらうため、そして保護者に対して運動の主旨や教育方針を正しく伝え理解を深めてもらうために、全国の各団で実施されている体験入隊イベント。そのスタイルや実施されるプログラムも様々ですが、組織拡充に向けて着実に成果が上がっています。

楽しいイベントの様子を、「スカウティング」誌上で紹介していきます。計画から準備の過程、実施にあたっての心構え、団内でのコミュニケーションの問題等、他団の参考になるようなお話をお待ちしています。写真を添えてお送りください。

Club Scout的絵手紙コンテスト 一生懸命描いたら絶対載る!

今、巷で静かなブームとなっている絵手紙の、作品のおもしろさを競うClub Scout的なコンテストを実施します。スカウト活動、自然観察等に関連した作品を大募集します。

カラー頁での掲載を予定していますので、応募作品は必ずきれいに色を塗ることが条件になります。絵の具、カラーマーカー、サインペン等を使ってハッキリ、クッキリと描いてください(色鉛筆は不可)。

応募資格は、ボーイ以下の年代のスカウトに限らせていただきます。どうぞ、活動のプログラムに取り入れていただき、「隊のみんなで、ハイキングに出かけたときの作品です」みたいな応募をお待ちしています。

- テ ー マ ① おいしい食べ物
② スカウト活動
③ 自然観察
- サ イ ズ ● 作品は必ずハガキサイズで制作してください。
● タテ使い、ヨコ使いは自由。
- 応募締切 2002年8月15日
- 発 表 「Club Scout」にて

きみもなかに!! オリジナルデザインの 組織拡充ポスター募集

「スカウト運動参加へのお誘い」「入団案内」等 楽しいデザインのポスターやチラシを募集します。スカウト活動のかけこい場面、子どもたちの可愛い笑顔を捉えた写真、スカウト自身が描いたイラスト、人の心をつかむインパクトのあるキャッチコピー等、全国のスカウト仲間のお手本となるようなすばらしい作品を送ってください。

- テ ー マ ① 入団へのお誘い、団員募集
② 各種行事・イベントの告知
③ 地域のお祭りや行事と連携した活動
- 表 現 写真、イラスト等、平面のものであれば原則自由とします。
- 応募方法 作品は、折れ目が見つからないようにして送ってください。必ず団名、代表者名を書いた用紙を添付してください。また用紙には、そのポスター、チラシを製作した、目的、掲示場所、配布先等を記してください。
- サ イ ズ B5以上、B1以下(変形サイズ可)

意見・行事報告・活動紹介…etc.

読者のページ

スカウト座禅体験 自分を見つめ直すために

宮崎・宮崎第15団

お寺に泊まり込んで修業するなどということは、なかなか体験できないものです。宮崎第15団が親子参加のプログラムとして実施した1泊2日の泊まり込み修業が、地元「宮崎日日新聞(2002.4.20)」で紹介されました。新聞記事を要約してご紹介します。

宮崎市のボーイスカウト宮崎第15団は、4月13日、14日に国富町の法華薬師寺で、1泊2日の泊まり込み修業をした。スカウトたちは座禅や精進料理の食事、自然探索等を通じ、自分を見つめ直した。

スカウトたちと保護者約30人が参加。住職の「日常」を体験したいと昨年からはじめた。

座禅では、正座で足が痛むのか顔を少ししかめるスカウトも。福岡住職は、「心も体も強い子どもになってください」とスカウトたちを励ましていた。

スカウトたちはタケノコ等の精進料理を食べ、寝袋で就寝。境内の掃除や釈迦岳登山にも挑戦した。

ボーイ隊の後藤将人くんは、「正座は落ち着く感じがする。足は痛くなかった」と余裕たっぷり。福岡住職は「はじめや決まりを守る習慣をつける良い経験になるのではないかと話していた。



座禅に励むスカウトたち(宮崎日日新聞より)

ふくろう隊楽しいよ

兵庫・尼崎第25団団委員長 佐藤征一郎

『スカウティング』6月号で紹介された「ふくろう隊」です。これまでは尼崎第13団で活動していましたが、関係各方面からの多大なご支援をいただき、障害児チームの新団としてスタートしました。

今まで1人であることが多かった彼らが、ボーイスカウトに入隊して保護者と一緒に野外に出て楽しく活動できるようになりました。スカウトたちの笑顔は宝石のように輝いています。最初は自分の親としか手をつなぐことができなかったスカウトたちにも多くの友だちができ、しっかり手を握り合って皆仲間であることを確かめています。

スカウティングは、すべての人々に門戸が開かれたすばらしい運動です。そして「より良いスカウティングを より多くの青少年に！」が、日本連盟のスローガンです。ふくろう隊のスカウトたちが入隊してたての頃は「敬礼」もグー、パーが多かったのですが、今では二指、三指でできるようになりました。彼らの成長をサポートし、見守っていくという意味で、これからも『スカウティング』におたよりしたいと思っています。「より良いスカウティングを より多くの青少年に！」を目指す皆様に、少しでも役立てばと思います。



ご支援ありがとうございます

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

*維持会員 (敬称略)

平成14年4月	【新潟】	【広島】
【北海道】	斉藤 真 憲	船越 聖 示
【岩手】	【石川】	【山口】
【宮城】	北村 伸 一郎	岸村 正 昭
【茨城】	【愛知】	【長崎】
茂木 康 郷	大矢 利 雄	永谷 光 生
【栃木】	【三重】	【日本連盟】
小林 成 敏	長井 英 雄	石島 織 維 尚
【群馬】	【京都】	石島 寛 寛
押田 好 雄	菊水引起センター前	第一企画印刷 尚
【千葉】	【兵庫】	久野 桂 桂
根岸 真 太郎	【兵庫】	尚 リンクマン
西原 潔	津田 芳 宏	川口 敏
大野 皎	橋本 健 司	

SCOUTING No.590



財団法人
ボーイスカウト日本連盟

みんなで参加して活性化しよう 『スカウティング』は進化する

現在『スカウティング』の表紙は、現役スカウトがモデルになっています。設備の整った大きな写真スタジオで、プロのフォトグラファーが撮影しています。モデルの募集、撮影会実施のインフォメーションは、『スカウティング』に掲載されます。去る6月22日にも、東京都内のスタジオで無事撮影を終了しました。撮影された写真が何月号の表紙になるかは今のところ未定ですが、なかなかの出来映えです。

スカウトなら誰でもモデルになれるとはいっても、これまではスタジオが東京ということで、首都圏のスカウトが中心でした。今後は地方でも撮影会の実施を検討していく予定です。「ぜひ我が県で撮影会を！」という希望のある方は、ぜひ大きな声で名乗りを上げてください。

表紙のバックは何もない白。主役のスカウトを引き立てます。衣装やポーズもいたってシンプル。表情だけで、日頃スカウトがどれだけ楽しく活動しているかを表現しようとフォトグラファーは挑戦しているとか。プロのこだわりには脱帽です。おかげさまで毎号毎号ご好評をいただいております。次回はあなたもモデルになってみませんか。

また、『スカウティング』編集の特別企画として、13NJの開催にあわせて舞洲での出張撮影会についても検討を始めました。青空の下で元気に活躍するスカウトの姿をプロが撮影すれば、外部に対するアピール効果も抜群の写真になるのでは…と考えています。

スカウティング 2002年7月号

発行所 財団法人ボーイスカウト日本連盟
編集責任者 事務局長 高井英行
編集企画 総務委員会 編集小委員会

〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
TEL 0422-31-5161
FAX 0422-31-5162
ホームページ http://www.scout.or.jp/
E-mail info@scout.or.jp

表紙モデル 林真道(東京・目黒第3団BS)

- ◎財団法人ボーイスカウト日本連盟/本誌掲載の写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟 組織グループまでご連絡ください。
- 本誌のバックナンバーを希望されるときは、日本連盟 組織グループまでご注文ください。
- 環境保護のため、『スカウティング』は再生紙を使用しています。

スカウトショップNEWS



■ポロシャツ Lサイズ
敬礼 刺しゅうワンポイント
綿 鹿子 **各¥1,700**

- 1 ホワイト -72781
- 2 グレー -72783
- 3 イエロー -72785
- 4 グリーン -72787
- 5 レッド -72789
- 6 ネイビー -72791

着丈	胸囲	半袖丈
73cm	112cm	22cm

大会シンボルマーク
刺しゅうワンポイント 綿 鹿子

- 7 ホワイト -72793
- 8 グレー -72794
- 9 イエロー -72795
- 10 グリーン -72796
- 11 レッド -72797
- 12 ネイビー -72798



限定品

■コンパクトパック 2
大会シンボルマーク
刺しゅうワンポイント 色：緑
37cm×28cm×8~13cm 10ℓ
-72847 **¥1,500**



限定品

■コンパクトパック 1
敬礼 刺しゅうワンポイント
色：赤
47cm×27cm×13cm 15ℓ
-72845 **¥1,500**



限定品

■木製ケース (ボールペン付き)
大会シンボルマーク
レーザー彫り マホガニー製
5.5cm×17cm×厚み2.1cm
-72849 **¥1,000**



限定品

■ナップザック
大会シンボルマークプリント
本体44cm×33cm ナイロン製
軽量簡便、かさばらず肩に掛けても、手提げにも使える。
チャック付き前ポケット付き。
-72843 **¥1,500**



■IDタッグ 1 (紺)
IDタッグ 2 (ピンク)
大会シンボルマーク
ネーム用ペーパー付
5.2cm×3.2cm 全長39cm
1 -72851
2 -72852 **各¥350**



■缶ペンケース
大会シンボルマークのプリント
6cm×20cm×1.7cm
-72867 **¥350**



※6月発売予定

■ジャンボリーナイフ
ブレードに13NJと大会マーク
3丁出4徳、刃渡り6cm
-72853 **¥2,500**

JAMBOREE

値下げのお知らせ

8月1日(木)より次の商品を値下げ販売します。
-58617 ■たすき (ボーイ用) **¥1,200**

スカウトカレンダー

2003

サイズ B4判変型
年間行事シール付

予約受付開始

平成14年8月1日より

-68403
¥600 (予定価格)

一般用品

■上進章 集会
リーダーハンドブック
B6判 24P
-61505 **¥250**



■ピンバッジ11
日の丸・大会シンボルマーク
左右2.7cm プリント樹脂加工
-72633 **¥250**



■缶バッジ (2個組)
大会シンボルマークと20WJ
のJIIJマークの2種類 3cmφ
-72809 **¥200**



■ご利用にあたってのお願い

- ご注文はBSカード専用の注文書がありますので、ご連絡いただければ送付いたします。
- 日本連盟のインターネットのホームページからダウンロードできます (<http://www.scout.or.jp/>)。
- お支払いにつきましては、ボーイスカウトカード及び代金引換(代引)のみの取り扱いとさせていただきます。
- ファクシミリ [0422-31-5169 スカウト用品専用] でご注文をお受けいたします。
- カードは計画的にご利用ください。
- お求めは県連盟・取扱協力店、あるいはボーイスカウトカードをお持ちの方は日本連盟まで。



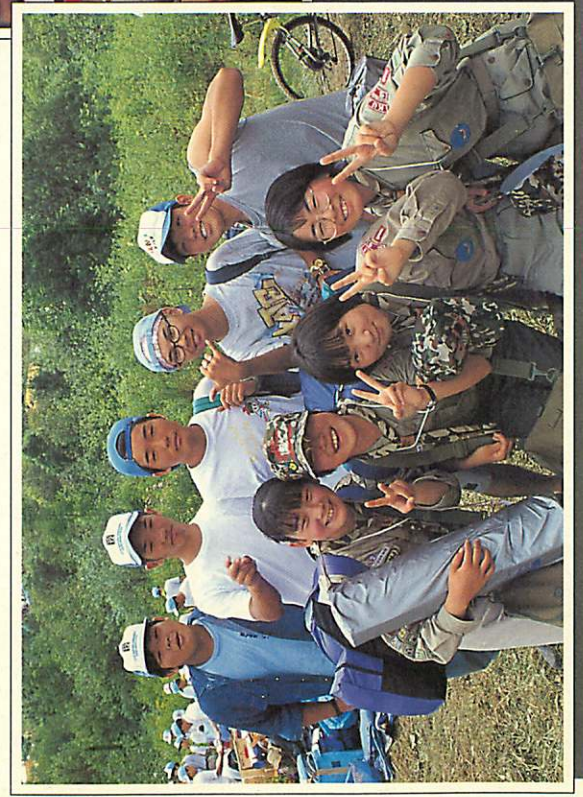
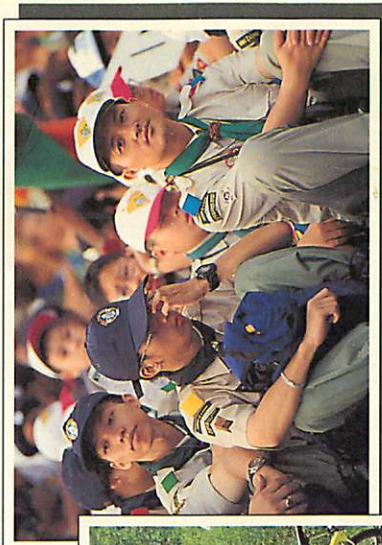
※当カードは、オリコ・UC・VISA取扱店や、海外のVISA取扱店でもご利用になれます。

★スカウト用品の表示価格には消費税は含まれておりません。外税として別途申し受けます。
★スカウト用品の情報はインターネットでもご覧いただけます。
★限定品は在庫がなくなり次第取り扱いを終了致します。

ジャンボリーの記念写真は私たちが撮影します。



この夏は三度と三度いっ



THE INTERNATIONAL AIR PHOTO INC.
国際航空写真株式会社

〒120-0035 東京都足立区千住中居町 7-12
TEL 03-3882-3181(代) FAX 03-3882-3217
URL: http://www.iap-net.com